教務部情報

【教育課程】

本学の教育課程は、「ヒューマンケアリング」を実践できる看護職者を育成することを目的として編成し、徹底した人間愛の教育と実践を支える高度な看護学・医学の知識・技能習得をめざしています。各科目の編成および単位数は下表のとおりです。

〈2022年度入学生〉

区分 大区分	区分 小区分	授業科目	年次	開講時期	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	時間	コマ	卒業要件（合計128単位以上）	備考
基礎分野	キリスト教と文化	建学の理念	1	前期	1			15	8	必修5単位	※多言語支医療支援コースを修了しようとする者は、■1～7の科目を修得しなければならない。 ※■5、6については、学外で修得した単位を読み替えるものとし、■1、2、5、6、7は多言語医療支援コース履修許可者以外は履修不可とする。
		キリスト教学Ⅰ（キリスト教概論）	1	前期	2			30	15		
		キリスト教学Ⅱ（キリスト教史特論）	4	後期	1			15	8		
		音楽Ⅰ（基礎）	1	前期		1		30	15		
		音楽Ⅱ（応用／音楽療法概論を含む）	1	後期		1		30	15		
		文化人類学	1	前期集中		2		30	15		
		生命倫理	1	後期	1			15	8		
		小計 7科目			5	4	0	165	84	5	
	人間と社会	科学の基礎	1	前期		1		15	8	必修3単位	
		生物と地球環境	2	前期		2		30	15		
		人間の発達と心理	1	前期	1			15	8		
		人間関係論	1	後期	2			30	15		
		経済と社会の基礎（社会人入門）	1	前期		2		30	15		
		社会福祉学	2	前期		1		15	8		
		ボランティア活動論	1	後期		1		30	15		
		教育方法論	2	前期		1		30	15		
		法学（日本国憲法を含む）	1	前期		2		30	15		
		体育	1	後期		2		30	15		
		小計 10科目			3	12	0	255	129	3	
	コミュニケーション	ラーニング・リテラシー	1	前期	1			30	15	必修6単位	■1 ■2
		情報リテラシー	1	後期	1			15	8		
		コミュニケーション・リテラシー	2	前期	1			15	8		
		Practical English Ⅰ（大学英語の入門）	1	前期	1			30	15		
		Practical English Ⅱ（自己表現力）	1	後期	1			30	15		
		English for Nursing Ⅰ (Patient Assessment)	2	前期	1			30	15		
		English for Nursing Ⅱ (Patient Care)	2	後期		1		30	15		
		English for Nursing Ⅲ (Patient Education)	3	前期		1		30	15		
		English Reading & Translation	4	前期		1		15	8		
		Short Overseas Nursing Study	1	後期集中		3		45	23		
		韓国の言語と文化	1	前期		1		30	15		
		中国の言語と文化	1	前期		1		30	15		
		Pre-Nursing English Ⅰ（Health Professionals）	1	前期		1		30	15		■3
		Pre-Nursing English Ⅱ（Healthy Living）	1	後期		1		30	15		■4
		Intercultural Communication	3	前期		2		30	15		■5
		Cross Cultural Communication Strategies	4	後期		2		30	15		■6
		小計 16科目			6	14	0	450	227	6	
中計 33科目					14	30	0	870	440	14	
専門基礎分野	人体の科学	生命科学	1	後期	2			30	15	必修10単位	
		形態機能学Ⅰ（内部環境の恒常性、恒常性維持のための物流の流通・調整機構、日常生活動作「動く」）	1	前期	1			30	15		
		形態機能学Ⅱ（食べる、息をする、トイレに行く（排尿・排便）、話す・聞く、眠る・風呂に入る、子どもを産む）	1	前期	1			30	15		
		形態機能学演習	1	後期	2			30	15		
		薬理学	2	後期	2			30	15		
		微生物学・感染学	1	後期	2			30	15		
		小計 6科目			10	0	0	180	90	10	
	疾病の成り立ちと回復	病理学概論	1	後期	1			15	8	必修7単位	
		病態・疾病論Ⅰ（治療総論）	1	後期	1			15	8		
		病態・疾病論Ⅱ（呼吸・循環・腎・泌尿器系）	1	後期	1			30	15		
		病態・疾病論Ⅲ（消化器・脳神経・筋・内分泌・代謝系）	2	前期	1			30	15		
		病態・疾病論Ⅳ（運動器・血液・感染症・アレルギー系）	2	前期	1			15	8		
		病態・疾病論Ⅴ（小児・精神）	2	前期	1			30	15		
		生殖・発達学	2	前期	1			15	8		
		小計 7科目			7	0	0	150	77	7	
	生活者の健康	公衆衛生学・疫学	1	後期	2			30	15	必修12単位	
		保健医療福祉行政論Ⅰ（概論）	2	前期	2			30	15		
		保健医療福祉行政論Ⅱ（活動論）	2	後期	1			15	8		
		保健統計学	2	後期	2			30	15		
		健康教育論	2	後期	1			15	8		
		健康と栄養	1	前期	2			30	15		
		精神保健論	2	後期	1			30	15		
		リハビリテーション看護学	2	前期	1			15	8		
		小計 8科目			12	0	0	195	99	12	
中計 21科目					29	0	0	525	266	29	

基礎分野の選択科目から8単位以上修得

〈2022年度入学生〉

区分 大区分	区分 小区分	授業科目	年次	開講時期	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	時間	コマ	卒業要件（合計128単位以上）		備考
専門分野	基礎看護学	看護学概論	1	前期	1			15	8	必修11単位	専門分野の選択科目から2単位以上修得	※1　保健師国家試験受験資格を得ようとする者は、＊1～6の科目を修得しなければならない。 ※2　＊6の科目については、保健師国家試験受験資格希望申請許可者以外は履修不可。
		看護理論	1	後期	1			15	8			
		ヒューマンケアリング論Ⅰ（基礎）	1	前期	1			15	8			
		ヒューマンケアリング論Ⅱ（応用）	2	後期	1			15	8			
		基礎看護学方法論Ⅰ（生活援助技術）	1	前期	2			60	30			
		基礎看護学方法論Ⅱ（診療援助技術）	1	後期	2			60	30			
		フィジカルアセスメント	2	前期	1			30	15			
		看護過程Ⅰ（看護過程の基本）	2	前期	1			15	8			
		看護過程Ⅱ（応用）	2	後期	1			30	15			
		小　計　9科目			11	0	0	255	130	11		
	地域・在宅看護学	地域・在宅看護論（地域看護学）	1	後期	1			15	8	6単位		
		在宅看護学概論	2	後期	1			15	8			
		在宅看護援助論Ⅰ（在宅看護の展開）	2	後期	1			15	8			
		在宅看護援助論Ⅱ（在宅看護のシステム）	3	前期	1			15	8			
		在宅看護技術論	3	前期	2			30	15			
		小　計　5科目			6	0	0	90	47	6		
	成人看護学	成人看護学概論	1	後期	1			15	8	必修6単位		
		成人看護援助論Ⅰ（慢性期）	2	前期	2			30	15			
		成人看護援助論Ⅱ（急性期）	2	後期	2			30	15			
		成人看護援助論演習	3	前期	1			30	15			
		小　計　4科目			6	0	0	105	53	6		
	老年看護学	老年看護学概論	2	前期	1			15	8	必修4単位		
		老年看護援助論	2	後期	2			30	15			
		老年看護援助論演習	3	前期	1			30	15			
		小　計　3科目			4	0	0	75	38	4		
	母性看護学	母性看護学概論	2	後期	1			15	8	必修4単位		
		母性看護援助論Ⅰ（妊娠・分娩期）	2	後期	1			15	8			
		母性看護援助論Ⅱ（産褥・新生児期）	3	前期	1			15	8			
		母性看護援助論演習	3	前期	1			30	15			
		小　計　4科目			4	0	0	75	39	4		
	小児看護学	小児看護学概論	2	後期	1			15	8	必修4単位		
		小児看護援助論Ⅰ（症状を示す子どもの看護）	2	後期	1			15	8			
		小児看護援助論Ⅱ（健康レベルに応じた子どもの看護）	3	前期	1			15	8			
		小児看護援助論演習	3	前期	1			30	15			
		小　計　4科目			4	0	0	75	39	4		
	精神看護学	精神看護学概論	2	前期	1			15	8	必修4単位		
		精神看護援助論	3	前期	2			30	15			
		精神看護援助論演習	3	前期	1			30	15			
		小　計　3科目			4	0	0	75	38	4		
	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	2	前期	2			30	15	必修4単位		
		公衆衛生看護方法論Ⅰ（個人・家族の支援）	2	後期	2			30	15			
		公衆衛生看護方法論Ⅱ（集団・組織の支援）	3	前期		2		30	15		＊1	
		公衆衛生看護活動論Ⅰ（地域診断の基礎）	3	前期		2		30	15		＊2	
		公衆衛生看護活動論Ⅱ（地域診断の応用）	3	後期集中		1		30	15		＊3	
		公衆衛生看護管理論Ⅰ（地域ケアシステム）	4	前期		2		30	15		＊4	
		公衆衛生看護管理論Ⅱ（地域保健計画）	4	後期		1		15	8		＊5	
		小　計　7科目			4	8	0	195	98	4		
	看護の統合と実践	看護研究入門	3	前期	1			30	15	必修9単位		
		ヒューマンケアリング論Ⅲ（統合）	4	前期	1			15	8			
		災害看護学	3	前期	1			15	8			
		国際看護学	4	前期		1		15	8			
		看護管理学	4	前期	2			30	15			
		看護倫理学	4	後期	1			15	8			
		クリティカルケア	4	後期		1		15	8			
		Stories from Non-Japanese Patients	4	前期		1		30	15		■7	
		エンド・オブ・ライフケア	4	後期		1		15	8			
		総合看護演習	4	後期		1		30	15			
		卒業研究Ⅰ（課題の探求）	4	前期	1			30	15			
		卒業研究Ⅱ（論文作成）	4	後期	2			60	30			
		看護総合セミナーⅠ（基礎）	4	前期			1	30	15			
		看護総合セミナーⅡ（応用）	4	後期			1	30	15			
		小　計　14科目			9	5	2	360	183	9		

〈2022年度入学生〉

区分		授業科目	年次	開講時期	単位数			時間	コマ	卒業要件（合計128単位以上）		備考
大区分	小区分				必修	選択	自由					
専門分野	臨地実習	基礎看護学実習Ⅰ（コミュニケーション実習）	2	前期	1			30	-	必修23単位		
		基礎看護学実習Ⅱ（看護過程実習）	2	後期	2			60	-			
		成人看護学実習（急性期）	3	後期	3			90	-			
		成人看護学実習（慢性期）	3	後期	3			90	-			
		老年看護学実習	3	後期	3			90	-			
		母性看護学実習	3	後期	2			60	-			
		小児看護学実習	3	後期	2			60	-			
		精神看護学実習	3	後期	2			60	-			
		在宅看護学実習	3	後期	2			60	-			
		公衆衛生看護学実習	4	前期後期		5		150	-		＊6	
		看護学総合実習	4	前期	3			90	-			
		小計 11科目			23	5	0	840	0	23		
	中計	64科目			75	18	2	2145	665	75		
合計		118科目			118	48	2	3540	1371	118	10	

【カリキュラムの構造】

〈2022年度入学生〉

専門分野

看護の統合と実践
＜必修＞看護研究入門　ヒューマンケアリング論Ⅲ(統合)　災害看護学　看護管理学　看護倫理学
卒業研究Ⅰ(課題の探求)　卒業研究Ⅱ(論文作成)
＜選択＞国際看護学　クリティカルケア　Stories from Non-Japanese Patients　エンド・オブ・ライフケア
総合看護演習
＜自由＞看護総合セミナーⅠ(基礎)　看護総合セミナーⅡ(応用)
【実習】看護学総合実習

〔成　　人〕成人看護学概論　成人看護援助論Ⅰ(慢性期)　成人看護援助論Ⅱ(急性期)　成人看護援助論演習
老年看護学概論
【実習】成人看護学実習(急性期)　成人看護学実習(慢性期)
〔老　　年〕老年看護学概論　老年看護援助論　老年看護援助論演習
【実習】老年看護学実習
〔母　　性〕母性看護学概論　母性看護援助論Ⅰ(妊娠・分娩期)　母性看護援助論Ⅱ(産褥・新生児期)
母性看護援助論演習
【実習】母性看護学実習
〔小　　児〕小児看護学概論　小児看護援助論Ⅰ(症状を示す子どもの看護)
小児看護援助論Ⅱ(健康レベルに応じた子どもの看護)　小児看護援助論演習
【実習】小児看護学実習
〔精　　神〕精神看護学概論　精神看護援助論　精神看護援助論演習
【実習】精神看護学実習
〔地域・在宅〕地域・在宅看護論(地域看護学)在宅看護学概論　在宅看護援助論Ⅰ(在宅看護の展開)
在宅看護援助論Ⅱ(在宅看護のシステム)　在宅看護技術論
【実習】在宅看護学実習
〔公衆衛生〕公衆衛生看護学概論　公衆衛生看護方法論Ⅰ(個人・家族の支援)
〈選択〉公衆衛生看護方法論Ⅱ(集団・組織の支援)　公衆衛生看護活動論Ⅰ(地域診断の基礎)
公衆衛生看護活動論Ⅱ(地域診断の応用)　公衆衛生看護管理論Ⅰ(地域ケアシステム)
公衆衛生看護管理論Ⅱ(地域保健計画)

〔基礎看護学〕看護学概論　看護理論　ヒューマンケアリング論Ⅰ(基礎)　ヒューマンケアリング論Ⅱ(応用)
基礎看護学方法論Ⅰ(生活援助技術)　基礎看護学方法論Ⅱ(診療援助技術)　フィジカルアセスメント
看護過程Ⅰ(看護過程の基本)　看護過程Ⅱ(応用)
【実習】基礎看護学実習Ⅰ(コミュニケーション実習)　基礎看護学実習Ⅱ(看護過程実習)

専門基礎分野

人体の化学
生命科学
形態機能学Ⅰ(内部環境の恒常性、恒常性維持のための物流の流通・調整機構、日常生活動作「動く」)
形態機能学Ⅱ(食べる、息をする、トイレに行く(排尿・排便)、話す・聞く、眠る・風呂に入る、子どもを産む)
形態機能学演習
薬理学
微生物学・感染学

疾病の成り立ちと回復
病理学概論
病態・疾病論Ⅰ(治療総論)
病態・疾病論Ⅱ(呼吸・循環・腎・泌尿器系)
病態・疾病論Ⅲ(消化器・脳神経・筋・内分泌・代謝系)
病態・疾病論Ⅳ(運動器・血液・感染症・アレルギー系)
病態・疾病論Ⅴ(小児・精神)
生殖・発達学

生活者の健康
公衆衛生学・疫学
保健福祉行政論Ⅰ(概論)
保健福祉行政論Ⅱ(活動論)
保健統計学
健康教育論
健康と栄養
精神保健論
リハビリテーション看護学

基礎分野

キリスト教と文化
〈必修〉
建学の理念
キリスト教学Ⅰ(キリスト教概論)
キリスト教学Ⅱ(キリスト教史特論)
生命倫理

〈選択〉
音楽Ⅰ(基礎)
音楽Ⅱ(応用/音楽療法概論を含む)
文化人類学

人間と社会
〈必修〉
人間の発達と心理
人間関係論

〈選択〉
科学の基礎
生物と地球環境
経済と社会の基礎(社会人入門)
社会福祉学
ボランティア活動論
教育方法論
法学(日本国憲法を含む)
体育

コミュニケーション
〈必修〉
ラーニング・リテラシー
情報リテラシー
コミュニケーション・リテラシー
Practical EnglishⅠ(大学英語の入門)
Practical EnglishⅡ(自己表現力)
English for NursingⅠ(Patient Assessment)

〈選択〉
English for NursingⅡ(Patient Care)
English for NursingⅢ(Patient Education)
English Reading&Translation
Short Overseas Nursing Study
韓国の言語と文化
中国の言語と文化
Pre-Nursing EnglishⅠ(Health Professionals)
Pre-Nursing EnglishⅡ(Healthy Living)
Intercultural Communication
Cross Curtural Communication Strategies

①保健師コース

卒業時に保健師免許受験資格の取得をするためのコース。
2年次末に希望申請を行い、選考の結果受講者が決定する。

① 保健師コース
〈必修〉
公衆衛生看護方法論Ⅱ(集団・組織の支援)
公衆衛生看護活動論Ⅰ(地域診断の基礎)
公衆衛生看護活動論Ⅱ(地域診断の応用)
公衆衛生看護管理論Ⅰ(地域ケアシステム)
公衆衛生看護管理論Ⅱ(地域保健計画)
【実習】
公衆衛生看護学実習

②多言語医療支援コース

多文化への理解を深め、語学(英語)力、コミュニケーション力を備えた看護職を育成するコース。
入学時にコース受講の要件を満たし、かつ1年次末に希望申請を行った者の中から選考し受講者を決定する。※2021年度より2年生からの編入制度あり

② 多言語医療支援コース
English for Nursing Ⅰ
English for Nursing Ⅱ
English for Nursing Ⅲ
Stories from Non-Japanese Patients
International Communication※
Cross-Cultual Health Practices※

※印は福岡女学院大学国際キャリア学部開講科目を履修し本学開講科目と読替る。

【カリキュラム進度表】

〈2022年度入学生〉

区分 大区分	区分 小区分	授業科目	年次	1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	時間	コマ	卒業要件（合計128単位以上）	備考
基礎分野	キリスト教と文化	建学の理念	1	→								1			15	8	必修5単位	※多言語支援医療支援コースを修了しようとする者は、■1～7の科目を修得しなければならない。 ※■5、6については、学外で修得した単位を読み替えるものとし、■1、2、5、6、7は多言語医療支援コース履修許可者以外は履修不可とする。
		キリスト教学Ⅰ（キリスト教概論）	1	→								2			30	15		
		キリスト教学Ⅱ（キリスト教史特論）	4								→	1			15	8		
		音楽Ⅰ（基礎）	1	→									1		30	15		
		音楽Ⅱ（応用／音楽療法概論を含む）	1		→								1		30	15		
		文化人類学	1	→	※集中講義								2		30	15		
		生命倫理	1		→							1			15	8		
		小　計　7科目										5	4	0	165	84	5	
	人間と社会コミュニケーション	科学の基礎	1	→									1		15	8	必修3単位	基礎分野の選択科目から8単位以上修得 ■1 ■2 ■3 ■4 ■5 ■6
		生物と地球環境	2			→							2		30	15		
		人間の発達と心理	1	→								1			15	8		
		人間関係論	1		→							2			30	15		
		経済と社会の基礎（社会人入門）	1	→									2		30	15		
		社会福祉学	2			→							1		15	8		
		ボランティア活動論	1		→								1		30	15		
		教育方法論	2			→							1		30	15		
		法学（日本国憲法を含む）	1	→									2		30	15		
		体育	1		→								2		30	15		
		小　計　10科目										3	12	0	255	129	3	
		ラーニング・リテラシー	1	→								1			30	15	必修6単位	
		情報リテラシー	1		→							1			15	8		
		コミュニケーション・リテラシー	2			→						1			15	8		
		Practical English Ⅰ（大学英語の入門）	1	→								1			30	15		
		Practical English Ⅱ（自己表現力）	1		→							1			30	15		
		English for Nursing Ⅰ(Patient Assessment)	2			→						1			30	15		
		English for Nursing Ⅱ (Patient Care)	2				→						1		30	15		
		English for Nursing Ⅲ (Patient Education)	3					→					1		30	15		
		English Reading & Translation	4							→			1		15	8		
		Short Overseas Nursing Study	1		→	※集中講義							3		45	23		
		韓国の言語と文化	1	→									1		30	15		
		中国の言語と文化	1	→									1		30	15		
		Pre-Nursing English Ⅰ (Health Professionals)	1	→									1		30	15		
		Pre-Nursing English Ⅱ (Healthy Living)	1		→								1		30	15		
		Intercultural Communication	3					→					2		30	15		
		Cross Cultural Communication Strategies	4								→		2		30	15		
		小　計　16科目										6	14	0	450	227	6	
	中　計　33科目											14	30	0	870	440	14	
専門基礎分野	人体の科学	生命科学	1		→							2			30	15	必修10単位	
		形態機能学Ⅰ（内部環境の恒常性、恒常性維持のための物流の流通・調整機構、日常生活動作（動く））	1	→								1			30	15		
		形態機能学Ⅱ（食べる、息をする、トイレに行く（排尿・排便）、話す・聞く、眠る・覚醒による、子どもを産む）	1	→								1			30	15		
		形態機能学演習	1		→							2			30	15		
		薬理学	2				→					2			30	15		
		微生物学・感染学	1			→						2			30	15		
		小　計　6科目										10	0	0	180	90	10	
	疾病の成り立ちと回復	病理学概論	1		→							1			15	8	必修7単位	
		病態・疾病論Ⅰ（治療総論）	1		→							1			15	8		
		病態・疾病論Ⅱ（呼吸・循環・腎・泌尿器系）	1		→							1			30	15		
		病態・疾病論Ⅲ（消化器・脳神経・筋・内分泌・代謝系）	2			→						1			30	15		
		病態・疾病論Ⅳ（運動器・血液・感染症・アレルギー系）	2			→						1			15	8		
		病態・疾病論Ⅴ（小児・精神）	2			→						1			30	15		
		生殖・発達学	2			→						1			15	8		
		小　計　7科目										7	0	0	150	77	7	
	生活者の健康	公衆衛生学・疫学	1		→							2			30	15	必修12単位	
		保健医療福祉行政論Ⅰ（概論）	2			→						2			30	15		
		保健医療福祉行政論Ⅱ（活動論）	2				→					1			15	8		
		保健統計学	2				→					2			30	15		
		健康教育論	2				→					1			15	8		
		健康と栄養	1		→							2			30	15		
		精神保健論	2				→					1			30	15		
		リハビリテーション看護学	2			→						1			15	8		
		小　計　8科目										12	0	0	195	99	12	
	中　計　21科目											29	0	0	525	266	29	

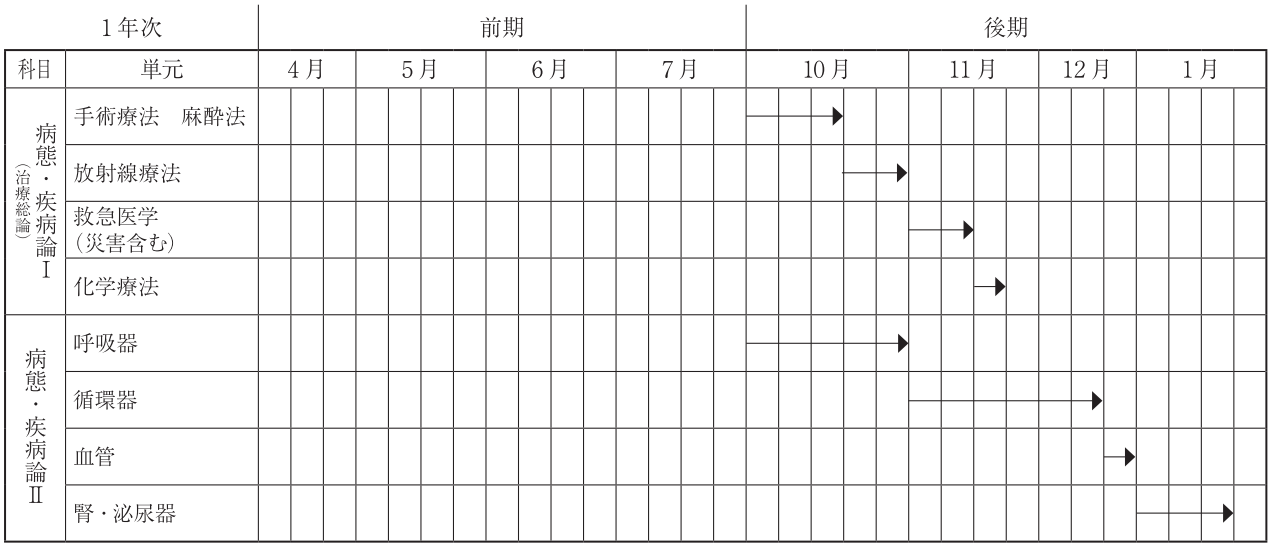
〈2022年度入学生〉

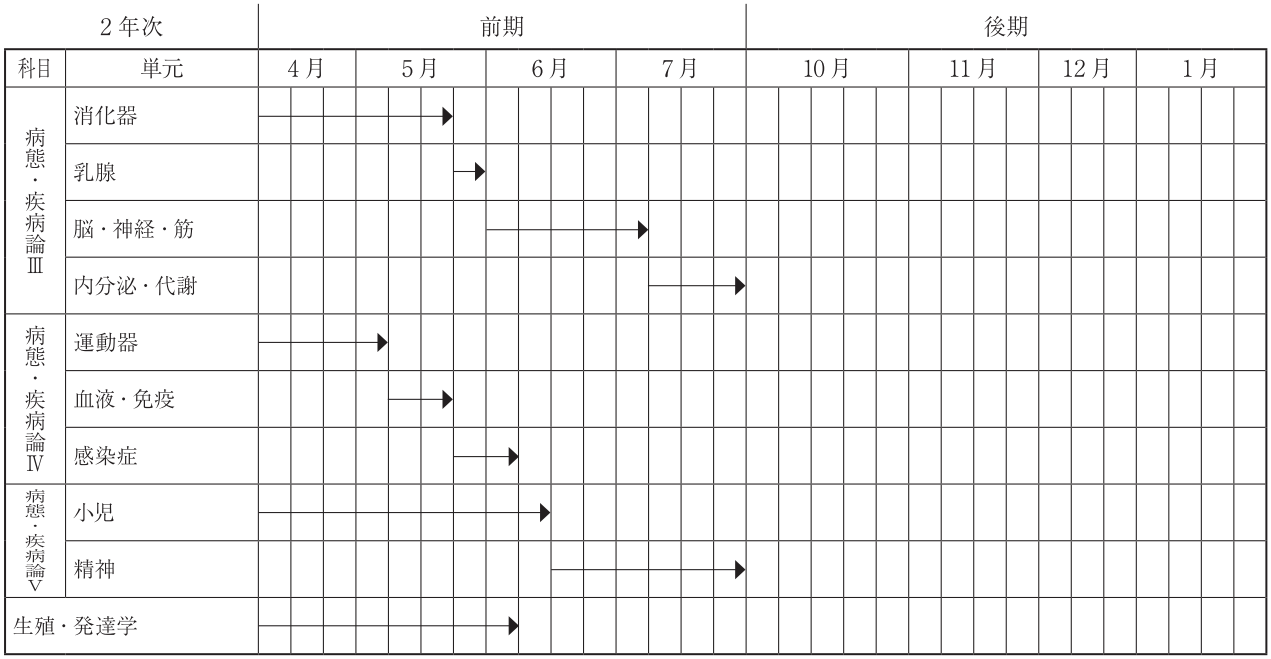
区分 大区分	区分 小区分	授業科目	年次	1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	時間	コマ	卒業要件（合計124単位以上）		備考
専門分野	基礎看護学	看護学概論	1	→								1			15	8	必修11単位	専門分野の選択科目から2単位以上修得	※1 保健師国家試験受験資格を得ようとする者は、＊1～6の科目を修得しなければならない。 ※2 ＊6の科目については、保健師国家試験受験資格希望申請許可者以外は履修不可。
		看護理論	1		→							1			15	8			
		ヒューマンケアリング論Ⅰ（基礎）	1	→								1			15	8			
		ヒューマンケアリング論Ⅱ（応用）	2				→					1			15	8			
		基礎看護学方法論Ⅰ（生活援助技術）	1	→								2			60	30			
		基礎看護学方法論Ⅱ（診療援助技術）	1		→							2			60	30			
		フィジカルアセスメント	2			→						1			30	15			
		看護過程Ⅰ（看護過程の基本）	2			→						1			15	8			
		看護過程Ⅱ（応用）	2				→					1			30	15			
		小計 9科目										11	0	0	255	130	11		
	地域・在宅看護学	地域・在宅看護論（地域看護学）	1		→							1			15	8	6単位		
		在宅看護学概論	2				→					1			15	8			
		在宅看護援助論Ⅰ（在宅看護の展開）	2				→					1			15	8			
		在宅看護援助論Ⅱ（在宅看護のシステム）	3					→				1			15	8			
		在宅看護技術論	3					→				2			30	15			
		小計 5科目										6	0	0	90	47	6		
	成人看護学	成人看護学概論	1		→							1			15	8	必修6単位		
		成人看護援助論Ⅰ（慢性期）	2			→						2			30	15			
		成人看護援助論Ⅱ（急性期）	2				→					2			30	15			
		成人看護援助論演習	3					→				1			30	15			
		小計 4科目										6	0	0	105	53	6		
	老年看護学	老年看護学概論	2			→						1			15	8	必修4単位		
		老年看護援助論	2				→					2			30	15			
		老年看護援助論演習	3					→				1			30	15			
		小計 3科目										4	0	0	75	38	4		
	母性看護学	母性看護学概論	2				→					1			15	8	必修4単位		
		母性看護援助論Ⅰ（妊娠・分娩期）	2				→					1			15	8			
		母性看護援助論Ⅱ（産褥・新生児期）	3					→				1			15	8			
		母性看護援助論演習	3					→				1			30	15			
		小計 4科目										4	0	0	75	39	4		
	小児看護学	小児看護学概論	2				→					1			15	8	必修4単位		
		小児看護援助論Ⅰ（症状を示す子どもの看護）	2				→					1			15	8			
		小児看護援助論Ⅱ（健康レベルに応じた子どもの看護）	3					→				1			15	8			
		小児看護援助論演習	3					→				1			30	15			
		小計 4科目										4	0	0	75	39	4		
	精神看護学	精神看護学概論	2			→						1			15	8	必修4単位		
		精神看護援助論	3					→				2			30	15			
		精神看護援助論演習	3					→				1			30	15			
		小計 3科目										4	0	0	75	38	4		
	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	2			→						2			30	15	必修4単位	＊1 ＊2 ＊3 ＊4 ＊5	
		公衆衛生看護方法論Ⅰ（個人・家族の支援）	2			→						2			30	15			
		公衆衛生看護方法論Ⅱ（集団・組織の支援）	3					→					2		30	15			
		公衆衛生看護活動論Ⅰ（地域診断の基礎）	3					→					2		30	15			
		公衆衛生看護活動論Ⅱ（地域診断の応用）	3						→	※集中講義			1		30	15			
		公衆衛生看護管理論Ⅰ（地域ケアシステム）	4							→			2		30	15			
		公衆衛生看護管理論Ⅱ（地域保健計画）	4								→		1		15	8			
		小計 7科目										4	8	0	195	98	4		
	看護の統合と実践	看護研究入門	3					→				1			30	15	必修9単位	■7	
		ヒューマンケアリング論Ⅲ（統合）	4							→		1			15	8			
		災害看護学	3					→				1			15	8			
		国際看護学	4							→			1		15	8			
		看護管理学	4							→		2			30	15			
		看護倫理学	4								→	1			15	8			
		クリティカルケア	4								→		1		15	8			
		Stories from Non-Japanese Patients	4							→			1		30	15			
		エンド・オブ・ライフケア	4								→		1		15	8			
		総合看護演習	4								→		1		30	15			
		卒業研究Ⅰ（課題の探求）	4							→		1			30	15			
		卒業研究Ⅱ（論文作成）	4								→	2			60	30			
		看護総合セミナーⅠ（基礎）	4							→				1	30	15			
		看護総合セミナーⅡ（応用）	4								→			1	30	15			
		小計 14科目										9	5	2	360	183	9		

〈2022年度入学生〉

区分 大区分	区分 小区分	授業科目	年次	1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	時間	コマ	卒業要件 (合計124単位以上)		備考
専門分野	臨地実習	基礎看護学実習Ⅰ（コミュニケーション実習）	2			→						1			30	-	必修23単位		
		基礎看護学実習Ⅱ（看護過程実習）	2				→					2			60	-			
		成人看護学実習（急性期）	3						→			3			90	-			
		成人看護学実習（慢性期）	3						→			3			90	-			
		老年看護学実習	3						→			3			90	-			
		母性看護学実習	3						→			2			60	-			
		小児看護学実習	3						→			2			60	-			
		精神看護学実習	3						→			2			60	-			
		在宅看護学実習	3						→			2			60	-			
		公衆衛生看護学実習	4							→	→		5		150	-		＊6	
		看護学総合実習	4							→		3			90	-			
		小計 11科目										23	5	0	840	0	23		
	中計 64科目											75	18	2	2145	665	75		
合計 118科目												118	48	2	3540	1371	118	10	

【病態・疾病論進度表】〈2022年度入学生〉





※2018年度以降入学生の進度表は2021年度キャンパスライフP.21を参照。

【カリキュラムツリー】〈2022年度入学生〉



【教育課程】

〈2018～2021年度入学生〉

区分 大区分	区分 小区分	授業科目	年次	開講期	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	時間	コマ	卒業要件(合計126単位以上)	基礎分野の選択科目から8単位以上修得	備考
基礎分野	キリスト教と文化	建学の理念	1	前期	1			15	8	必修5単位		※多言語医療支援コースを修了しようとする者は、■1～9科目の単位を修得しなければならない。 ※■5～8については、学外で修得した単位を読み替えるものとし、多言語医療支援コース履修許可者以外は履修不可とする。
		キリスト教学Ⅰ（キリスト教概論）	1	前期	2			30	15			
		キリスト教学Ⅱ（キリスト教史特論）	4	後期	1			15	8			
		音楽Ⅰ（基礎）	1	前期		1		30	15			
		音楽Ⅱ(応用／音楽療法概論を含む)	1	後期		1		30	15			
		文化人類学	1	前期集中		2		30	15			
		生命倫理	1	後期	1			15	8			
		小　計 7科目			5	4	0	165	84	5		
	人間と社会	科学の基礎	1	前期		1		15	8	必修4単位		
		生物と地球環境	2	前期		2		30	15			
		人間の発達と心理	1	前期	2			30	15			
		人間関係論	1	後期	2			30	15			
		経済と社会の基礎（社会人入門）	1	前期		2		30	15			
		社会福祉学	1	後期		1		15	8			
		ボランティア活動論	1	後期		1		30	15			
		教育方法論	2	前期		1		30	15			
		法学（日本国憲法を含む）	1	前期		2		30	15			
		体育	1	後期		2		30	15			
		小　計 10科目			4	12	0	270	136	4		
	コミュニケーション	ラーニング・リテラシー	1	前期	1			30	15	必修5単位	■1 ■2	
		情報処理演習	1	後期		1		30	15			
		Practical English Ⅰ（大学英語の入門）	1	前期	1			30	15			
		Practical English Ⅱ（自己表現力）	1	後期	1			30	15			
		English for Nursing Ⅰ（情報収集）	2	前期	1			30	15			
		English for Nursing Ⅱ（アセスメント）	2	後期		1		30	15			
		English for Nursing Ⅲ（入院時のサポート）	3	前期		1		30	15			
		Basic English Reading & Translation	3	前期		1		30	15			
		English Reading & Translation	4	前期		1		30	15			
		Short Overseas Nursing Study	1	後期集中		3		45	23			
		韓国の言語と文化	1	前期		1		30	15			
		中国の言語と文化	1	前期		1		30	15			
		コミュニケーション・リテラシー	2	前期	1			15	8			
		医療英語Ⅰ（人体・症状・疾病）	1	前期		1		30	15		■3	
		医療英語Ⅱ（診察・処置）	1	後期		1		30	15		■4	
		Intermediate Speaking	3	前期		2		30	15		■5	
		English Discussion	3	前期		2		30	15		■6	
		English Communication	4	後期		2		30	15		■7	
		Intercultural Communication	4	後期		2		30	15		■8	
		小　計 19科目			5	20	0	570	286	5		
	中　計 36科目				14	36	0	1005	506	14	8	
専門基礎分野	人体の科学	生命科学	1	後期	2			30	15	必修10単位		
		人体の構造Ⅰ(総論･脈管系･呼吸器系･泌尿器系･生殖器系)	1	前期	1			30	15			
		人体の構造Ⅱ(内分泌系･骨格系･筋系･神経系･皮膚系･感覚器)	1	後期	1			30	15			
		人体の機能Ⅰ(血液･循環･呼吸･内分泌･消化吸収･栄養代謝･尿生成･排泄･体温調節)	1	前期	1			30	15			
		人体の機能Ⅱ（筋肉・神経・感覚）	1	後期	1			30	15			
		薬理学	2	前期	2			30	15			
		微生物学・感染学	1	後期	2			30	15			
		小　計 7科目			10	0	0	210	105	10		
	疾病の成り立ちと回復	病理学概論	1	後期	1			15	8	必修7単位		
		病態・疾病論Ⅰ（治療総論）	1	後期	1			15	8			
		病態･疾病論Ⅱ(呼吸･循環･腎･泌尿器系)	1	後期	1			30	15			
		病態･疾病論Ⅲ(消化器･脳神経･筋･内分泌･代謝系)	2	前期	1			30	15			
		病態･疾病論Ⅳ(運動器･血液･感染症･アレルギー系)	2	前期	1			15	8			
		病態・疾病論Ⅴ（小児・精神）	2	前期	1			30	15			
		生殖・発達学	2	前期	1			15	8			
		小　計 7科目			7	0	0	150	77	7		
	生活者の健康	公衆衛生学・疫学	2	前期	2			30	15	必修12単位		
		保健医療福祉行政論	2	後期	2			30	15			
		保健統計学	2	後期	2			30	15			
		健康教育論	2	後期	2			30	15			
		健康と栄養	1	前期	2			30	15			
		臨床心理学	2	前期	1			30	15			
		精神保健論	2	後期	1			30	15			
		小　計 7科目			12	0	0	210	105	12		
	中　計 21科目				29	0	0	570	287	29	0	

〈2018～2021年度入学生〉

区分 大区分	区分 小区分	授業科目	年次	開講期	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	時間	コマ	卒業要件（合計126単位以上）		備考
専門分野Ⅰ	基礎看護学	看護学概論	1	前期	1			15	8	必修11単位	専門分野Ⅰ・専門分野Ⅱ及び統合分野の選択科目から2単位以上修得	※1保健師国家試験受験資格を得ようとする者は、＊1～6の科目を修得しなければならない。 ※2 ＊6の科目については、保健師国家試験受験資格希望申請許可者以外は履修不可。
		看護理論	1	後期	1			15	8			
		ヒューマンケアリング論Ⅰ（基礎）	1	前期	1			15	8			
		ヒューマンケアリング論Ⅱ（応用）	2	後期	1			15	8			
		基礎看護学方法論Ⅰ（生活援助技術）	1	前期	2			60	30			
		基礎看護学方法論Ⅱ（診療援助技術）	1	後期	2			60	30			
		フィジカルアセスメント	2	前期	1			30	15			
		看護過程Ⅰ（看護過程の基本）	2	前期	1			30	15			
		看護過程Ⅱ（応用）	2	後期	1			15	8			
		小　計　9科目			11	0	0	255	130	11		
	臨地実習	基礎看護学実習Ⅰ（コミュニケーション実習）	2	前期	1			45		必修3単位		
		基礎看護学実習Ⅱ（看護過程実習）	2	後期	2			90				
		小　計　2科目			3	0	0	135	0	3		
	中　計　11科目				14	0	0	390	130	14		
専門分野Ⅱ	成人・老年看護学	成人看護学概論	1	後期	1			15	8	必修10単位		
		成人看護援助論Ⅰ（周術期総論）	2	前期	1			15	8			
		成人看護援助論Ⅱ（急性期）	2	後期	1			30	15			
		成人看護援助論Ⅲ（慢性期）	2	前期	2			30	15			
		成人看護援助論演習	3	前期	1			30	15			
		老年看護学概論	2	前期	1			15	8			
		老年看護援助論	2	後期	2			30	15			
		老年看護援助論演習	3	前期	1			30	15			
		小　計　8科目			10	0	0	195	99	10		
	母性・小児看護学	母性看護学概論	2	後期	1			15	8	必修8単位		
		母性看護援助論Ⅰ（妊娠・分娩期）	2	後期	1			15	8			
		母性看護援助論Ⅱ（産褥･新生児期	3	前期	1			15	8			
		母性看護援助論演習	3	前期	1			30	15			
		小児看護学概論	2	後期	1			15	8			
		小児看護援助論Ⅰ（症状を示す子どもの看護）	2	後期	1			15	8			
		小児看護援助論Ⅱ（健康レベルに応じた子どもの看護）	3	前期	1			15	8			
		小児看護援助論演習	3	前期	1			30	15			
		小　計　8科目			8	0	0	150	78	8		
	精神看護学	精神看護学概論	2	前期	1			15	8	必修4単位		
		精神看護援助論	3	前期	2			30	15			
		精神看護援助論演習	3	前期	1			30	15			
		小　計　3科目			4	0	0	75	38	4		
	在宅看護学	在宅看護学概論	2	後期	1			15	8	必修4単位		
		在宅看護援助論	2	後期	2			30	15			
		在宅看護援助論演習	3	前期	1			30	15			
		小　計　3科目			4	0	0	75	38	4		
	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	1	後期	2			30	15	必修4単位	＊1	
		公衆衛生看護方法論Ⅰ(個人･家族の支援)	2	後期	2			30	15		＊2	
		公衆衛生看護方法論Ⅱ（集団・組織の支援）	3	前期		2		60	30		＊3	
		公衆衛生看護活動論Ⅰ（地域診断の基礎）	3	前期		2		30	15		＊4	
		公衆衛生看護活動論Ⅱ（地域診断の応用）	3	後期集中		1		30	15		＊5	
		公衆衛生看護管理論Ⅰ（基礎）	4	前期		2		45	23			
		公衆衛生看護管理論Ⅱ（応用）	4	後期		1		30	15			
		小　計　7科目			4	8	0	255	128	4		
	臨地実習	成人看護学実習（急性期）	3	後期	3			135		必修17単位		
		成人看護学実習（慢性期）	3	後期	3			135				
		老年看護学実習	3	後期	3			135				
		母性看護学実習	3	後期	2			90				
		小児看護学実習	3	後期	2			90				
		精神看護学実習	3	後期	2			90				
		在宅看護学実習	3	後期	2			90				
		公衆衛生看護学実習	4	前期･後期		5		225			＊6	
		小　計　8科目			17	5	0	990	0	17		
	中　計　37科目				47	13	0	1740	381	47		

〈2018～2021年度入学生〉

区分 大区分	区分 小区分	授業科目	年次	開講期	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	時間	コマ	卒業要件（合計126単位以上）		備考
統合分野	展開	看護研究入門	3	前期	1			30	15	必修9単位	■9	
		ヒューマンケアリング論Ⅲ（統合）	4	前期	1			15	8			
		災害看護学	4	前期	1			15	8			
		国際看護学	4	前期		1		15	8			
		看護管理学	4	前期	2			30	15			
		看護倫理学	4	後期	1			15	8			
		クリティカルケア	4	前期		1		15	8			
		Cross-Cultural Health Practices	4	後期		1		30	15			
		エンド・オブ・ライフケア	4	後期		1		15	8			
		卒業研究Ⅰ（課題の探求）	4	前期	1			30	15			
		卒業研究Ⅱ（論文作成）	4	後期	2			60	30			
		看護総合セミナーⅠ（基礎）	4	前期			1	30	15			
		看護総合セミナーⅡ（応用）	4	後期			1	30	15			
		小計 13科目			9	4	2	330	168	9		
	臨地実習	看護学総合実習	4	前期	3			135		必修3単位		
		小計 1科目			3	0	0	135	0	3		
	中計	14科目			12	4	2	465	168	12	2	
合計		119科目			116	53	2	4170	1472	116	10	

【カリキュラムの構造】

〈2018～2021年度入学生〉

統合分野

〈必修〉ヒューマンケアリング論Ⅲ（統合）　看護研究入門　卒業研究Ⅰ（課題の探求）　卒業研究Ⅱ（論文の作成）
　　災害看護学　看護管理学　看護倫理学
〈選択〉国際看護学　エンド・オブ・ライフケア　クリティカルケア
〈自由〉看護総合セミナーⅠ（基礎）　看護総合セミナーⅡ（応用）
【実習】看護学総合実習

専門分野Ⅱ

［成人・老年看護学］成人看護学概論　成人看護援助論Ⅰ（周術期総論）　成人看護援助論Ⅱ（急性期）
　　成人看護援助論Ⅲ（慢性期）　成人看護援助論演習
　　老年看護学概論 老年看護援助論　老年看護援助論演習
　　【実習】成人看護学実習（急性期）　成人看護学実習（慢性期）　老年看護学実習
［母性・小児看護学］母性看護学概論　母性看護援助論Ⅰ（妊娠・分娩期）
　　母性看護援助論Ⅱ（産褥・新生児期）　母性看護援助論演習
　　小児看護学概論　小児看護援助論Ⅰ（症状を示す子どもの看護）
　　小児看護援助論Ⅱ（健康レベルに応じた子どもの看護）　小児看護援助論演習
　　【実習】母性看護学実習　小児看護学実習
［精神看護学］精神看護学概論　精神看護援助論　精神看護援助論演習
　　【実習】精神看護学実習
［在宅看護学］在宅看護学概論　在宅看護援助論　在宅看護援助論演習
　　【実習】在宅看護学実習
［公衆衛生看護学］公衆衛生看護学概論　公衆衛生看護方法論Ⅰ（個人・家族の支援）
　　〈選択〉公衆衛生看護方法論Ⅱ（集団・組織の支援）
　　公衆衛生看護活動論Ⅰ（地域診断の基礎）
　　公衆衛生看護活動論Ⅱ（地域診断の応用）
　　公衆衛生看護管理論Ⅰ（基礎）
　　公衆衛生看護管理論Ⅱ（応用）
　　【実習】公衆衛生看護学実習

専門分野Ⅰ

［基礎看護学］看護学概論　看護理論　ヒューマンケアリング論Ⅰ（基礎）　ヒューマンケアリング論Ⅱ（応用）
　　基礎看護学方法論Ⅰ（生活援助技術）　基礎看護学方法論Ⅱ（診療援助技術）　フィジカルアセスメント
　　看護過程Ⅰ（看護過程の基本）　看護過程Ⅱ（応用）
【実習】基礎看護学実習Ⅰ（コミュニケーション実習）　基礎看護学実習Ⅱ（看護過程実習）

専門基礎分野

人体の科学
生命科学
人体の構造Ⅰ（総論・脈管系・呼吸器系・泌尿器系・生殖器系）
人体の構造Ⅱ（内分泌系・骨格系・筋系・神経系・皮膚系・感覚器）
人体の機能Ⅰ（血管・循環・呼吸・内分泌・消化吸収・栄養代謝・尿生成・排泄・体温調節）
人体の機能Ⅱ（筋肉・神経・感覚）
薬理学
微生物学・感染学

疾病の成り立ちと回復
病理学概論
病態・疾病論Ⅰ（治療総論）
病態・疾病論Ⅱ（呼吸・循環・腎・泌尿器系）
病態・疾病論Ⅲ（消化器・脳神経・筋・ 内分泌・代謝系）
病態・疾病論Ⅳ（運動器・血液・感染症・アレルギー系）
病態・疾病論Ⅴ（小児・精神）
生殖・発達学

生活者の健康
公衆衛生学・疫学
保健医療福祉行政論
保健統計学
健康教育論
健康と栄養
臨床心理学
精神保健論

基礎分野

キリスト教と文化
〈必修〉
建学の理念
キリスト教学Ⅰ（キリスト教概論）
キリスト教学Ⅱ（キリスト教史特論）
生命倫理

〈選択〉
音楽Ⅰ（基礎）
音楽Ⅱ（応用/音楽療法概論を含む）
文化人類学

人間と社会
〈必修〉
人間の発達と心理
人間関係論

〈選択〉
科学の基礎
生物と地球環境
経済と社会の基礎（社会人入門）
社会福祉学
ボランティア活動論
教育方法論
法学（日本国憲法を含む）
体育

コミュニケーション
〈必修〉
ラーニング・リテラシー
Practical EnglishⅠ（大学英語の入門）
Practical EnglishⅡ（自己表現力）
English for NursingⅠ（情報収集）
コミュニケーション・リテラシー

〈選択〉
情報処理演習
English for NursingⅡ（アセスメント）
English for NursingⅢ（入院時のサポート）
Basic English Reading&Translation
English Reading&Translation
Short Overseas Nursing Study
韓国の言語と文化
中国の言語と文化
医療英語Ⅰ（人体・症状・疾病）
医療英語Ⅱ（診察・処置）

①保健師コース

卒業時に保健師免許受験資格の取得をするためのコース。
2年次末に希望申請を行い、選考の結果受講者が決定する。

① 保健師コース
〈必修〉
公衆衛生看護方法論Ⅱ（集団・組織の支援）
公衆衛生看護活動論Ⅰ（地域診断の基礎）
公衆衛生看護活動論Ⅱ（地域診断の応用）
公衆衛生看護管理論Ⅰ（基礎）
公衆衛生看護管理論Ⅱ（応用）
【実習】
公衆衛生看護学実習

②多言語医療支援コース

多文化への理解を深め、語学（英語）力、コミュニケーション力を備えた看護職を育成するコース。
入学時にコース受講の要件を満たし、かつ1年次末に希望申請を行った者の中から選考し受講者を決定する。※2021年度入学生より2年生からの編入制度あり

② 多言語医療支援コース
English for NursingⅡ（アセスメント）
English for NursingⅢ（入院時のサポート）
Intermediate Speaking　English Discussion※
English Communication※
International Communication※
Cross-Cultual Health Practices※

※印は福岡女学院大学国際キャリア学部開講科目を履修し本学開講科目と読替る。

【カリキュラム進度表】

〈2018～2021年度入学生〉

区分 大区分	区分 小区分	授業科目	年次	1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	時間	コマ	卒業要件(合計126単位以上)		備考
基礎分野	キリスト教と文化	建学の理念	1	→								1			15	8	必修5単位	基礎分野の選択科目から8単位以上修得	※多言語医療支援コースを修了しようとする者は、■1～9科目の単位を修得しなければならない。 ※■5～8については、学外で修得した単位を読み替えるものとし、多言語医療支援コース履修許可者以外は履修不可とする。
		キリスト教学Ⅰ（キリスト教概論）	1	→								2			30	15			
		キリスト教学Ⅱ（キリスト教史特論）	4								→	1			15	8			
		音楽Ⅰ（基礎）	1	→									1		30	15			
		音楽Ⅱ(応用／音楽療法概論を含む)	1		→								1		30	15			
		文化人類学	1	→	※集中講義								2		30	15			
		生命倫理	1		→							1			15	8			
		小　計　7科目										5	4	0	165	84	5		
	人間と社会	科学の基礎	1	→									1		15	8	必修4単位		
		生物と地球環境	2			→							2		30	15			
		人間の発達と心理	1	→								2			30	15			
		人間関係論	1		→							2			30	15			
		経済と社会の基礎（社会人入門）	1	→									2		30	15			
		社会福祉学	1		→								1		15	8			
		ボランティア活動論	1		→								1		30	15			
		教育方法論	2			→							1		30	15			
		法学（日本国憲法を含む）	1	→									2		30	15			
		体育	1		→								2		30	15			
		小　計　10科目										4	12	0	270	136	4		
	コミュニケーション	ラーニング・リテラシー	1	→								1			30	15	必修5単位		
		情報処理演習	1		→								1		30	15			
		Practical English Ⅰ（大学英語の入門）	1	→								1			30	15			
		Practical English Ⅱ（自己表現力）	1		→							1			30	15			
		English for Nursing Ⅰ（情報収集）	2			→						1			30	15			
		English for Nursing Ⅱ（アセスメント）	2				→						1		30	15		■1	
		English for Nursing Ⅲ（入院時のサポート）	3					→					1		30	15		■2	
		Basic English Reading & Translation	3					→					1		30	15			
		English Reading & Translation	4							→			1		30	15			
		Short Overseas Nursing Study	1		→	※集中講義							3		45	23			
		韓国の言語と文化	1	→									1		30	15			
		中国の言語と文化	1	→									1		30	15			
		コミュニケーション・リテラシー	2			→						1			15	8			
		医療英語Ⅰ（人体・症状・疾病）	1	→									1		30	15		■3	
		医療英語Ⅱ（診察・処置）	1		→								1		30	15		■4	
		Intermediate Speaking	3					→					2		30	15		■5	
		English Discussion	3					→					2		30	15		■6	
		English Communication	4								→		2		30	15		■7	
		Intercultural Communication	4								→		2		30	15		■8	
		小　計　19科目										5	20	0	570	286	5		
	中　計　36科目											14	36	0	1005	506	14	8	
専門基礎分野	人体の科学	生命科学	1		→							2			30	15	必修10単位		
		人体の構造Ⅰ(総論・脈管系・呼吸器系・泌尿器系・生殖器系)	1	→								1			30	15			
		人体の構造Ⅱ(内分泌系・骨格系・筋系・神経系・皮膚系・感覚器)	1		→							1			30	15			
		人体の機能Ⅰ(血液・循環・呼吸・内分泌・消化吸収・栄養代謝・尿生成・排泄・体温調節)	1	→								1			30	15			
		人体の機能Ⅱ（筋肉・神経・感覚）	1		→							1			30	15			
		薬理学	2			→						2			30	15			
		微生物学・感染学	1		→							2			30	15			
		小　計　7科目										10	0	0	210	105	10		
	疾病の成り立ちと回復	病理学概論	1		→							1			15	8	必修7単位		
		病態・疾病論Ⅰ（治療総論）	1		→							1			15	8			
		病態・疾病論Ⅱ(呼吸・循環・腎・泌尿器系)	1		→							1			30	15			
		病態・疾病論Ⅲ(消化器・脳神経・筋・内分泌・代謝系)	2			→						1			30	15			
		病態・疾病論Ⅳ(運動器・血液・感染症・アレルギー系)	2			→						1			15	8			
		病態・疾病論Ⅴ（小児・精神）	2			→						1			30	15			
		生殖・発達学	2			→						1			15	8			
		小　計　7科目										7	0	0	150	77	7		
	生活者の健康	公衆衛生学・疫学	2			→						2			30	15	必修12単位		
		保健医療福祉行政論	2				→					2			30	15			
		保健統計学	2				→					2			30	15			
		健康教育論	2				→					2			30	15			
		健康と栄養	1	→								2			30	15			
		臨床心理学	2			→						1			30	15			
		精神保健論	2				→					1			30	15			
		小　計　7科目										12	0	0	210	105	12		
	中　計　21科目											29	0	0	570	287	29	0	

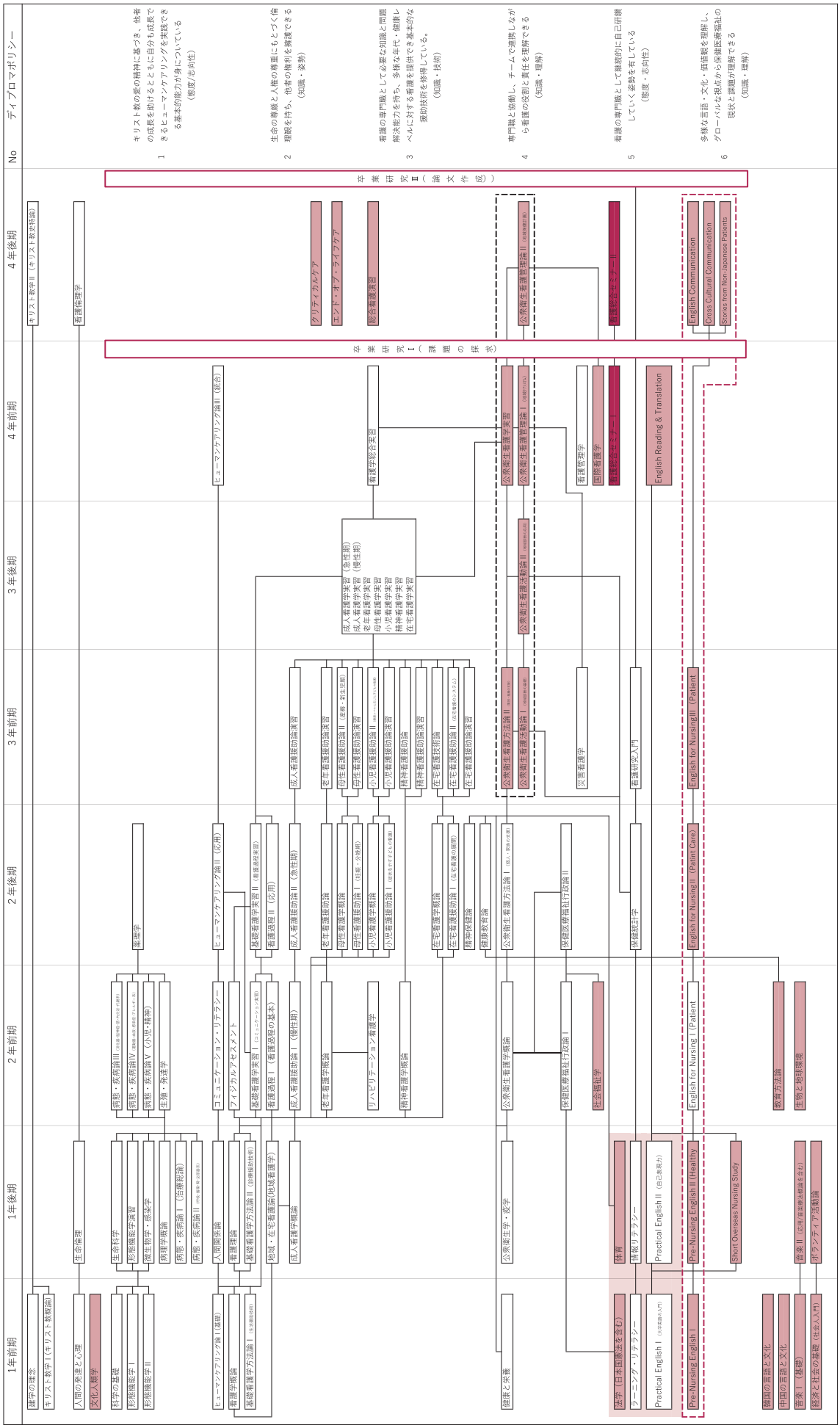
〈2018～2021年度入学生〉

区分 大区分	区分 小区分	授業科目	年次	1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	時間	コマ	卒業要件（合計126単位以上）	備考
専門分野Ⅰ	基礎看護学	看護学概論	1	→								1			15	8	必修11単位	※1保健師国家試験受験資格を得ようとする者は、＊1～6の科目を修得しなければならない。 ※2　＊6の科目については、保健師国家試験受験資格希望申請許可者以外は履修不可。
		看護理論	1		→							1			15	8		
		ヒューマンケアリング論Ⅰ（基礎）	1	→								1			15	8		
		ヒューマンケアリング論Ⅱ（応用）	2				→					1			15	8		
		基礎看護学方法論Ⅰ（生活援助技術）	1	→								2			60	30		
		基礎看護学方法論Ⅱ（診療援助技術）	1		→							2			60	30		
		フィジカルアセスメント	2			→						1			30	15		
		看護過程Ⅰ（看護過程の基本）	2			→						1			30	15		
		看護過程Ⅱ（応用）	2				→					1			15	8		
		小　計　9科目										11	0	0	255	130	11	
	臨地実習	基礎看護学実習Ⅰ（コミュニケーション実習）	2			→						1			45		必修3単位	
		基礎看護学実習Ⅱ（看護過程実習）	2				→					2			90			
		小　計　2科目										3	0	0	135	0	3	
	中　計　11科目											14	0	0	390	130	14	
専門分野Ⅱ	成人・老年看護学	成人看護学概論	1		→							1			15	8	必修10単位	専門分野Ⅰ・専門分野Ⅱ及び統合分野の選択科目から2単位以上修得
		成人看護援助論Ⅰ（周術期総論）	2			→						1			15	8		
		成人看護援助論Ⅱ（急性期）	2				→					1			30	15		
		成人看護援助論Ⅲ（慢性期）	2			→						2			30	15		
		成人看護援助論演習	3					→				1			30	15		
		老年看護学概論	2			→						1			15	8		
		老年看護援助論	2				→					2			30	15		
		老年看護援助論演習	3					→				1			30	15		
		小　計　8科目										10	0	0	195	99	10	
	母性・小児看護学	母性看護学概論	2				→					1			15	8	必修8単位	
		母性看護援助論Ⅰ（妊娠・分娩期）	2				→					1			15	8		
		母性看護援助論Ⅱ（産褥・新生児期）	3					→				1			15	8		
		母性看護援助論演習	3					→				1			30	15		
		小児看護学概論	2				→					1			15	8		
		小児看護援助論Ⅰ（症状を示す子どもの看護）	2				→					1			15	8		
		小児看護援助論Ⅱ（健康レベルに応じた子どもの看護）	3					→				1			15	8		
		小児看護援助論演習	3					→				1			30	15		
		小　計　8科目										8	0	0	150	78	8	
	精神看護学	精神看護学概論	2			→						1			15	8	必修4単位	
		精神看護援助論	3					→				2			30	15		
		精神看護援助論演習	3					→				1			30	15		
		小　計　3科目										4	0	0	75	38	4	
	在宅看護学	在宅看護学概論	2				→					1			15	8	必修4単位	
		在宅看護援助論	2				→					2			30	15		
		在宅看護援助論演習	3					→				1			30	15		
		小　計　3科目										4	0	0	75	38	4	
	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	1		→							2			30	15	必修4単位	＊1
		公衆衛生看護方法論Ⅰ（個人・家族の支援）	2				→					2			30	15		＊2
		公衆衛生看護方法論Ⅱ（集団・組織の支援）	3					→					2		60	30		＊3
		公衆衛生看護活動論Ⅰ（地域診断の基礎）	3					→					2		30	15		＊4
		公衆衛生看護活動論Ⅱ（地域診断の応用）	3						→	※集中講義			1		30	15		＊5
		公衆衛生看護管理論Ⅰ（基礎）	4							→			2		45	23		
		公衆衛生看護管理論Ⅱ（応用）	4								→		1		30	15		
		小　計　7科目										4	8	0	255	128	4	
	臨地実習	成人看護学実習（急性期）	3						→			3			135		必修17単位	
		成人看護学実習（慢性期）	3						→			3			135			
		老年看護学実習	3						→			3			135			
		母性看護学実習	3						→			2			90			
		小児看護学実習	3						→			2			90			
		精神看護学実習	3						→			2			90			
		在宅看護学実習	3						→			2			90			
		公衆衛生看護学実習	4							→	→		5		225			＊6
		小　計　8科目										17	5	0	990	0	17	
	中　計　37科目											47	13	0	1740	381	47	

〈2018～2021年度入学生〉

区分 大区分	区分 小区分	授業科目	年次	1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	時間	コマ	卒業要件（合計126単位以上）		備考
統合分野	展開	看護研究入門	3					→				1			30	15	必修9単位	■9	
		ヒューマンケアリング論Ⅲ（統合）	4							→		1			15	8			
		災害看護学	4							→		1			15	8			
		国際看護学	4							→			1		15	8			
		看護管理学	4							→		2			30	15			
		看護倫理学	4								→	1			15	8			
		クリティカルケア	4							→			1		15	8			
		Cross-Cultural Health Practices	4								→		1		30	15			
		エンド・オブ・ライフケア	4								→		1		15	8			
		卒業研究Ⅰ（課題の探求）	4							→		1			30	15			
		卒業研究Ⅱ（論文作成）	4								→	2			60	30			
		看護総合セミナーⅠ（基礎）	4							→				1	30	15			
		看護総合セミナーⅡ（応用）	4								→			1	30	15			
		小計 13科目										9	4	2	330	168	9		
	臨地実習	看護学総合実習	4									3			135		必修3単位		
		小計 1科目								→		3	0	0	135	0	3		
	中計	14科目										12	4	2	465	168	12	2	
合計		119科目										116	53	2	4170	1472	116	10	

【カリキュラムツリー】〈2018～2021年度入学生〉



【学　　籍】

1．学年および学期

学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わります。
なお、学年を前期（4月1日から9月30日）と後期（10月1日から3月31日）の2期に区分します。
ただし、学長が特に必要と認めた場合は、学期の開始日及び終了日を変更することがあります。

2．休 業 日

休業日は次のとおりです。

日曜日
国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号第3条）に定める休日
春期休業　　3月21日から3月31日まで
夏期休業　　8月1日から9月20日まで
冬期休業　　12月25日から1月7日まで

※但し、必要に応じ、休業日を変更する場合があります。

3．収容定員

学 科 名	入学定員	収容定員
看護学科	100名	400名

4．修業年限と在学年限

修業年限とは、大学の教育課程を修了するのに必要な期間を示します。これに対して在学年限とは、学生が大学に在学できる最長期間のことを示します。本学においては、修業年限は4年、在学年限は8年と定められています（学則第6条・7条）。

5．入　　学

本学に入学を志願する者は、選考の上、1年次に入学を許可します（学則第28条～32条）。

6．再 入 学

本学を退学した者で、本学への入学を志願する者があるときは、選考の上、相当年次に入学を許可することがあります（学則第40条）。

7．編 入 学

本学へ編入学を志願する者は、選考の上、相当年次に入学を許可することがあります（学則第40条）。

8．休　　学

疾病その他やむを得ない理由で、3ヶ月以上修学できない者は、保証人連署の上理由書を付して願い出、学長の許可を得て休学することができます。

疾病のため修学することが適当でないと認められる場合、学長は休学を命ずることができます。疾病の場合は医師の診断書が必要となります（学則第36条・37条）。

1）休学期間は1年以内とします。ただし、特別の理由がある場合は、休学期間を延長することができます。
2）休学期間は通算して4年を越えることはできません。
3）休学期間は在学年限には算入しません。

9．復　　学

1）休学の期間が過ぎて復学する場合は、所定の手続きにしたがい「復学願」を提出しなければなりません。

2）休学期間が半期間（前期または後期）、１年間のいずれの場合も復学した場合は、年次は原級にとどまります。

10. 退　　学

1）事情により退学しなければならなくなった場合は、所定の手続きにしたがい「退学願」を提出し、同時に学生証を返却しなければなりません。なお、「退学願」を提出する場合は、あらかじめ学生アドバイザーおよび学務課に相談してください。

2）学則または諸規定に違反し、あるいは学生としての本分に反する次の各号の１つに該当する行為があった場合は、教授会の議を経て、学長が退学を命じることがあります（学則第48条）。

⑴　性行不良で改善の見込みがない者

⑵　学業を怠り、成業の見込みがないと認められる者

⑶　正当の理由がなくて、出席が常でない者

⑷　本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

11. 除　　籍

学長は学生が次の各号の １ つに該当する場合は、教授会の議を経て、除籍することができます（学則第35条）。なお、除籍とは学則に基づいて学長が行う退学処分のうち、懲戒による退学を除いたもので、在学関係の解除が事務処理的に行われるものです。

1）期限までに学費の納入を行わず、督促してもなお納付しない者
（学費納入期限　前期：4 月 30 日、後期：9 月 30 日）

2）在学が８年に及び、なお卒業資格が得られない者

3）休学期間が通算して４年を超え、なお復学できない者

4）その他、除籍が必要と認められる者

12. 聴 講 生

本学では、特定の授業科目の聴講を志願する者がある場合は、正規の学生の学業に支障のない限り、教授会で選考の上、聴講生となることを許可します（別途聴講料が発生します）。なお、聴講生は単位の修得はできません。

13. 科目等履修生

本学では、特定の授業科目の履修及び単位修得を志願する者がある場合は、正規の学生の学業に支障のない限り、教授会での選考の上、年間１科目または複数科目の履修を許可します（別途履修料が発生します）。

履修した授業科目について所定の課程を修得し、試験に合格した場合には、大学の正規の単位が与えられます。

【学生支援システム】

各種の学生支援システムには本学のホームページからアクセスできます。
他のアクセス方法は別途記載します。



1．Mission Net（Universal Passport）：学生ポータルシステム

学生ポータルシステム Mission Net（UNIPA）は、大学からのお知らせや休講、補講などの確認及び、履修登録、時間割・成績確認等を WEB 上で、学内・学外問わずにインターネットに接続されたパソコンやスマートフォン、タブレットで確認できるシステムです。自然災害時の緊急連絡など、大学からの重要なお知らせも配信します。
Mission Net（UNIPA）へのアクセス方法（URL）は下記のとおりです。

① http://up.fukujo.ac.jp/uprx もしくは右の QR コードからアクセスする。
② ＜ログイン画面＞の User ID（学籍番号）と Password※1を入力する。
※１：パスワードについては、入学時にメディアオリエンテーションで説明します。

＜ログイン画面＞



＜Mission Net（UNIPA）の代表的な機能＞

・掲示配信（お知らせ配信）
・履修登録・確認
・成績、時間割の確認
・シラバスの検索・閲覧
・ポートフォリオの入力・確認（看護技術到達度など）
・授業の出欠状況の確認
・アンケートの回答
・各種マニュアル閲覧（教員のメールアドレスなど）

＜ログイン後のトップ画面＞



2．Gmail：学生向け公式メールアドレス

大学が皆さんに付与する公式のメールアドレスには、大学からのお知らせや、緊急時の確認などの E メールが配信されます。自宅からも見ることができます。常にチェックできるようにしておいてください。利用方法については、入学時のオリエンテーションでお知らせします。**学籍番号**（KK ～）gmail.com　＊学籍番号部分には自分の学籍番号が入ります。

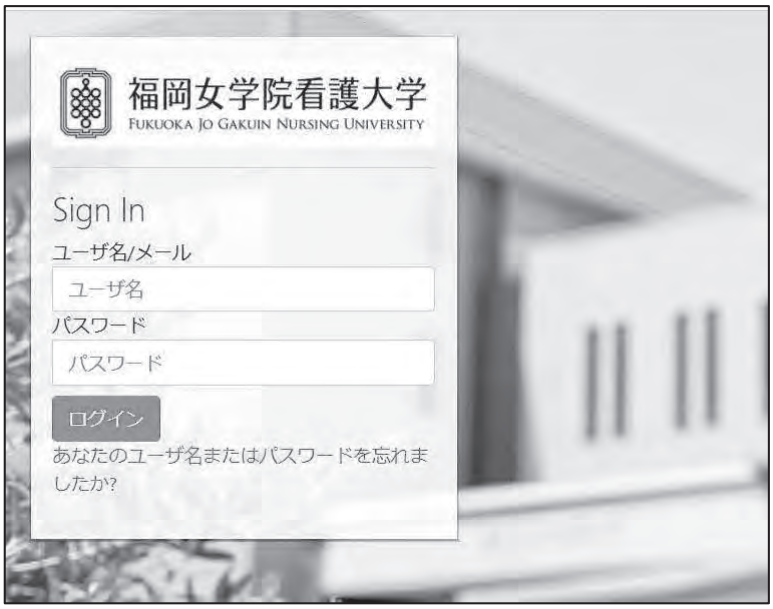
3．MOODLE：学習支援システム

授業を補助するツールとして学習支援システム「MOODLE」を2022年度より導入します。教材の配布、レポートや小テストの実施、講義映像の配信、授業に関するお知らせ等を行うシステムです。MOODLE には Mission Net（UNIPA）の【教育システム】からアクセスできます。

＜Mission Netのトップ画面＞



＜MOODLEのログイン画面＞



【授　業】

1．授業時間

授業時間は、次のとおりです。（※集中講義等、時間帯が変更になる場合は掲示します。）

〈通　常〉

時　限	開始時間	～	終了時間
1 時 限	9：00	～	10：30
2 時 限	10：40	～	12：10
チャペル	12：15	～	12：35
昼 休 み	12：35	～	13：25
3 時 限	13：25	～	14：55
4 時 限	15：05	～	16：35
5 時 限	16：45	～	18：15

〈ミッションウィーク期間〉

時　限	開始時間	～	終了時間
1 時 限	9：00	～	10：30
2 時 限	10：40	～	12：10
チャペル	12：15	～	12：45
昼 休 み	12：45	～	13：35
3 時 限	13：35	～	15：05
4 時 限	15：15	～	16：45
5 時 限	16：55	～	18：25

※ミッションウィーク期間でもロングチャペルがない日は、通常の授業時間帯で授業が行われます。
ロングチャペルの実施日は、別途お知らせします。

2．休講および補講

1）大学または授業科目担当の教員にやむを得ない事情が生じた場合、授業を休講することがあります。

2）休講したときは、そのための補講が行われます。補講は、５限目までの空き時間および土曜日に入る場合があります。

3）休講および補講については掲示（配信）により伝達します（P.72【学生への伝達】参照）。

4）休講の伝達がなく、授業開始後20分を経過しても連絡がない場合は、学務課に申し出てその指示に従ってください。

5）台風や交通機関の事故等については、「５．交通機関不通の場合の授業および試験の取り扱い」（P.37）を参照してください。特に臨時休校の必要がある場合は、掲示その他で指示します。

3．授業欠席

病気その他やむを得ない理由により、連続で７日以上欠席する場合（７日以上に渡る病気欠席の場合は欠席届に診断書を添付）は学務課に届けてください（P.60【欠席届】参照）。

※交通機関の運休等による場合は、「5. 交通機関不通の場合の授業および試験の取り扱い」（P.37）を参照してください。

4．学外授業

授業科目によっては学外授業が行われることがあります。

5．交通機関不通の場合の授業および試験の取り扱い

交通機関が自然災害（台風・大雨・大雪等）・ストライキ等のために運行が中止された場合、当日の授業および試験は下記のとおり措置します。

1） JR九州の運行を基準とします。（※「JR古賀駅」を基点とする）

ＪＲ九州運行状況	授業および試験の取り扱い
午前７時までに再開	平常どおり実施
午前７時～午前９時までに再開	３時限目から実施 ※１・２時限目に予定されていた試験については別日程にて実施する（期日は掲示で伝達）
午前９時を過ぎても運行中止	全日休講（試験は実施しない） ※当該試験日の試験については別日程にて実施する（期日は掲示で伝達）

2） JR九州以外の交通機関が運休状態にあり、他の交通機関が利用できず授業を遅刻または欠席した場合は、事後速やかに下記の手続きを行って下さい。

⑴ 遅刻の場合：遅延証明書を当該科目の科目担当者に提出

⑵ 欠席の場合：遅延証明書を「欠席届」に添えて学務課に提出

3） 上記の他、何らかの事由で交通機関に支障が生じ休講とする場合、または試験を実施しない場合は、学長がこれを決定します。

【臨地実習】 ※実習の詳細については実習要項を参照してください。

1．実習履修要件（P.45～46 参照）

2．単位認定

1） 単位認定者 ： 科目担当責任者

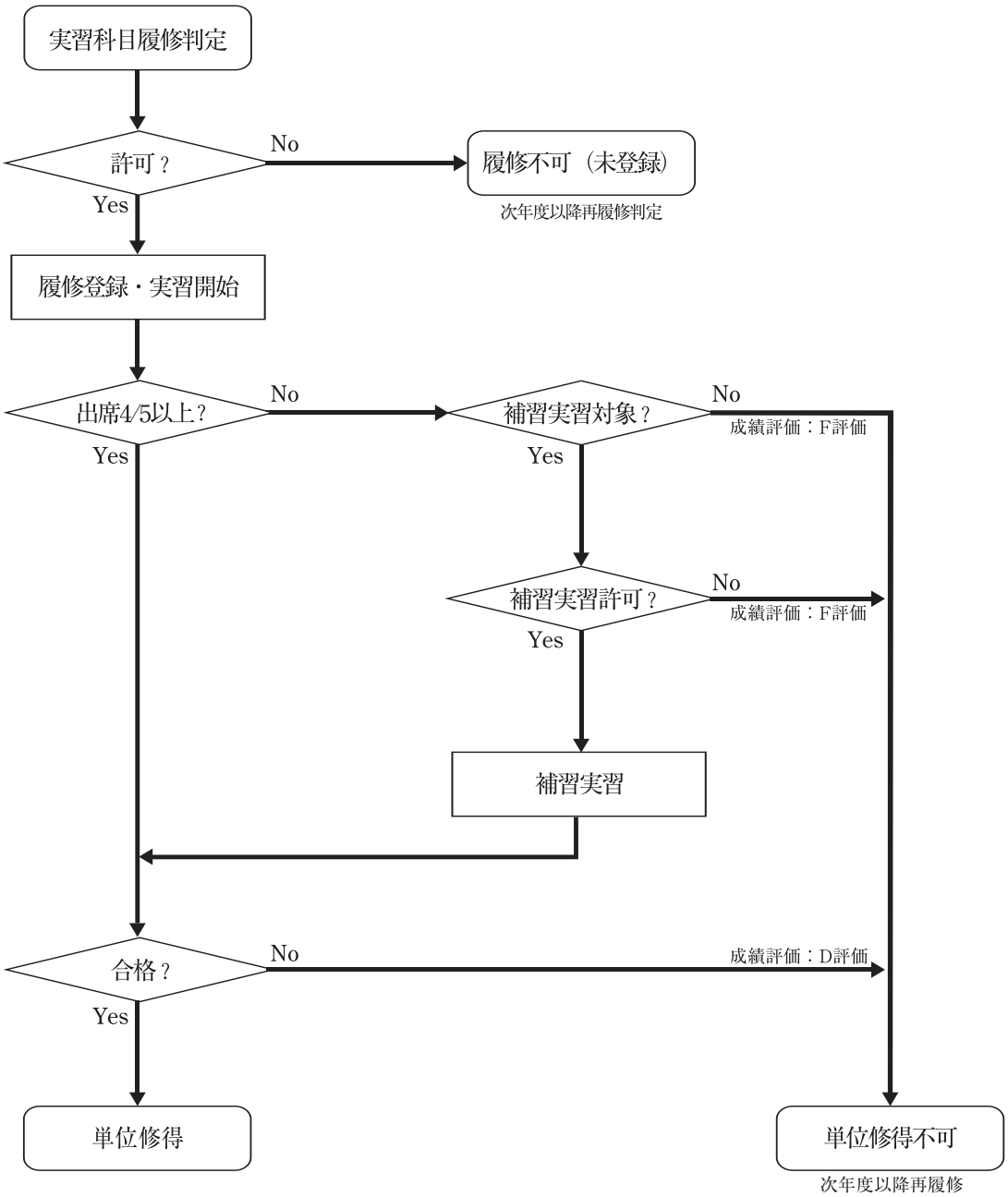
2） 単位認定の条件

実習の単位が認定されるためには下記の条件を満たしておく必要があります。

(1) 当該科目の履修登録をしていること。

(2) 学内学習日を含めた実習全日程の５分の４以上出席していること。

＜実習科目単位修得までの流れ＞



3．実習時間

原則として実習開始時間は８時30分、終了時間は16時30分です。但し、実習施設の状況や科目担当責任者の判断により変更となりますので、その指示に従ってください。

実習開始時間より遅れた場合を「遅刻」とし、終了時間より早く帰った場合を「早退」とします。遅刻・早退の合計時間の取り扱いについては、科目担当責任者の判断によるものとします。

4．欠　　席

病気その他やむを得ない理由により実習を欠席する場合の連絡については各実習における指示に従ってください。欠席した場合は「臨地実習欠席届」に欠席理由を証明する書類を添付して学務課に提出してください。

5．補習実習

補習実習の申請要件

病気やけが･忌引き･交通機関の事故、その他特別な事情により、実習全日程の5分の4以上出席できなかった場合、次の1)～2)の要件をすべて満たせば、補習実習を申請することができます(自己都合で欠席した場合は補習実習の対象になりません)。

1) 原則として当日の実習開始時間までに実習担当教員または学務課へ欠席の連絡をした場合。
2) 欠席理由を証明する書類等がある場合。

補習実習の手続き

補習実習を申請する場合は、「臨地実習の補習願」に欠席理由を証明する書類を添えて、実習担当教員が指定する期日までに学務課に提出してください 。

審議の結果、補習実習の許可を受けた者は、所定の手続きを行い補習実習費を納入してください。

補習実習費

1) 施設において実習する場合:実費(単価×実習日数)単価は実習施設によって異なります。
2) 学内のみで補習する場合 ： 1科目につき 2, 000円

・ 補習内容については、別途指示を行います 。

・ 補習実習ができない場合は、出席日数不足により単位認定の条件を満たしていないため、単位認定は[F(失格)]となり、当該実習は次年度以降に再履修をすることとなります。

・ 本人または同居者が感染症に罹患したことで実習が中止(継続不可)になり、施設側の事情等により当該年度に補習実習ができなかった場合は、[W(保留)]評価となります。

【履　　修】

〈科　目〉

本学では、授業科目の区分を「必修科目」「選択科目」「自由科目」とし、各授業科目を「必修科目」「選択科目」および「自由科目」に分けて各年次に配当し、教育課程を編成しています。

〈単　位〉

1．単　　位

単位とは、学修量を示す基準です。学生は、それぞれの授業科目に与えられている単位を一定の基準に従って修得し、学則に定められた単位数に達することにより、卒業の資格が与えられます。

2．単位と時間数

1）授業は前期、後期の２学期に分けられて実施され、原則として15週をもって１学期、30週をもって１学年としています。

2）１単位の授業科目は、45時間（自己学修の時間を含む）の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。

〔本学では、授業時間割の１時限（90分）を２時間とみなします。〕

本学では、授業科目の性質により次の基準で単位数を計算します。

⑴　講義、演習……15時間から30時間の範囲で本学が定める時間の授業をもって１単位とする。

⑵　実験、実習、実技……30時間から45時間の範囲で本学が定める時間の授業をもって１単位とする。

3．卒業に必要な単位数

卒業に必要な単位数は次の表のとおりです。

［2018～2021年度入学生］

区分		修得すべき単位数	
大区分	小区分	必修	選択
基礎分野	キリスト教と文化	5	8以上
	人間と社会	4	
	コミュニケーション	5	
	小計	22以上	
専門基礎分野	人体の科学	10	
	疾病の成り立ちと回復	7	
	生活者の健康	12	
	小計	29以上	
専門分野及び統合分野	基礎看護学	11	2以上
	成人・老年看護学	10	
	母性・小児看護学	8	
	精神看護学	4	
	在宅看護学	4	
	公衆衛生看護学	4	
	臨地実習	23	
	展開	9	
	小計	75以上	
合計		126以上	

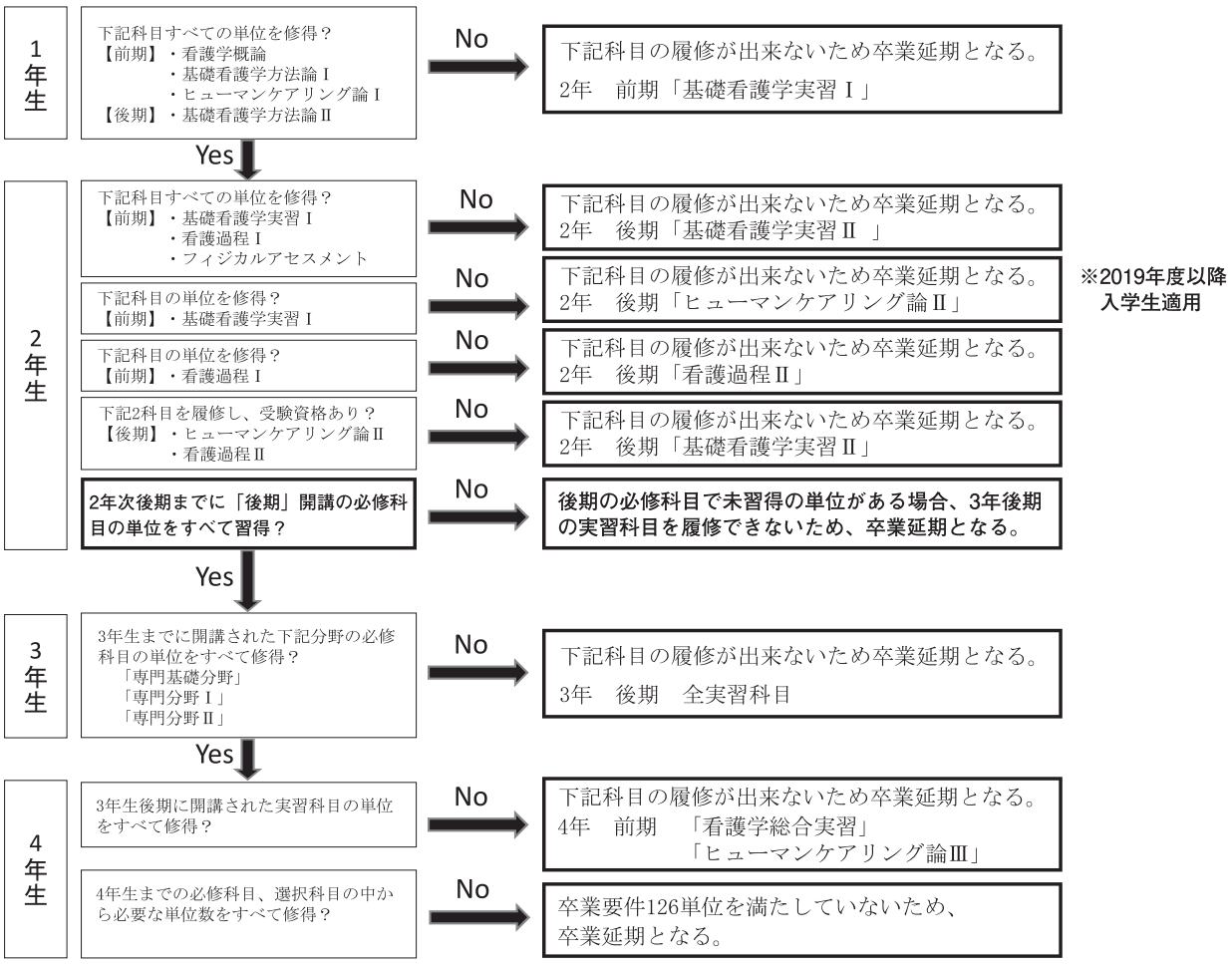
［2022年度以降入学生］

区分		修得すべき単位数	
大区分	小区分	必修	選択
基礎分野	キリスト教と文化	5	8以上
	人間と社会	3	
	コミュニケーション	6	
	小計	22以上	
専門基礎分野	人体の科学	10	
	疾病の成り立ちと回復	7	
	生活者の健康	12	
	小計	29以上	
専門分野	基礎看護学	11	2以上
	地域･在宅看護学	6	
	成人看護学	6	
	老年看護学	4	
	母性看護学	4	
	小児看護学	4	
	精神看護学	4	
	公衆衛生看護学	4	
	看護の統合と実践	9	
	臨地実習	23	
	小計	77以上	
合計		128以上	

〈卒業判定までの流れ〉

※ 保健師コース・多言語医療支援コースは別途コース必修科目があります。
※ 下記科目で不合格、未履修の科目がある場合でも学年は進行します。
ただし、4年生以上は学年は上がりません。

［2018年度以降入学生］



4－1．履修登録

履修登録とは、学生がその学期において履修するすべての授業科目を申告（登録）し、大学がそれを承認する手続きのことです。また、履修登録は学生各自が登録結果の確認をして初めて完結となります。学生にとっては、この履修登録が単位修得、すなわち卒業資格を得るための重要な手続きとなりますので、学生各自の責任において誤りのないように行ってください。

1）履修登録上の注意

⑴　各年度初めの所定の期日に、学務課より指示される方法で履修登録を行ってください（期限厳守）。病気その他やむを得ない理由で本人が登録できない場合は、学務課へ連絡してください。**無断で所定の期日に履修登録を行わなかった場合は、履修を放棄したものとみなします。**

⑵　履修する授業科目は、原則として、学年毎に開講される授業科目の中から選択します。上級年次配当の授業科目は履修することができません。

⑶　履修登録をせずに授業に出席した場合、当該科目の単位は無効となります。

⑷　選択科目の変更・追加・取消等については、学期毎に設定する期間に行ってください。期間外の変更・追加・取消等は一切認められません。各自、慎重に履修計画を立ててください。

⑸　履修登録終了後、必ず登録内容を確認してください。各自で確認後、登録内容に誤りがある場合は、所定の期日までに訂正してください。自分で訂正ができなかった場合は、学務課に申し出てください。**但し、期日外の申し出は一切認められません（期限厳守）。**

⑹　一度単位を修得した授業科目（既修得単位科目）は、重ねて履修することはできません。

⑺　週２回以上開講される授業科目については、曜日が早い１回目の曜日の科目のみを登録してください。

⑻　単位修得できなかった科目を再度履修する場合は、次年度に改めて履修登録を行ってください。

＜履修登録に関するスケジュール＞

4月	オリエンテーション 前・後期履修登録	・履修に関する説明（全員出席） ・履修登録
	前期授業開始	
	前期履修取消期間	
7月 8月	前期科目修了試験 前期追・再試験	
9月	後期履修登録変更･追加･取消期間	
	後期授業開始	
10月	後期履修取消期間	
12月 1月 2月	後期科目修了試験 後期追・再試験	
3月	年　度　終　了	

4－2．履修登録の上限単位（CAP制度）　＊2020年度入学生より適用

本学では、学生が年間に履修できる単位数に上限を定めています。ただし、所定の単位を優れた成績をもって修得した学生については、上限を超えて履修の登録を認めることがあります。上限単位数は、下記の表のとおりです。

【履修登録上限単位数について】

・年間に履修できる単位数は原則として50単位未満とする。ただし、前年度の「年度GPA」に基づき、次のとおり単位数の上限を変更して取り扱う。

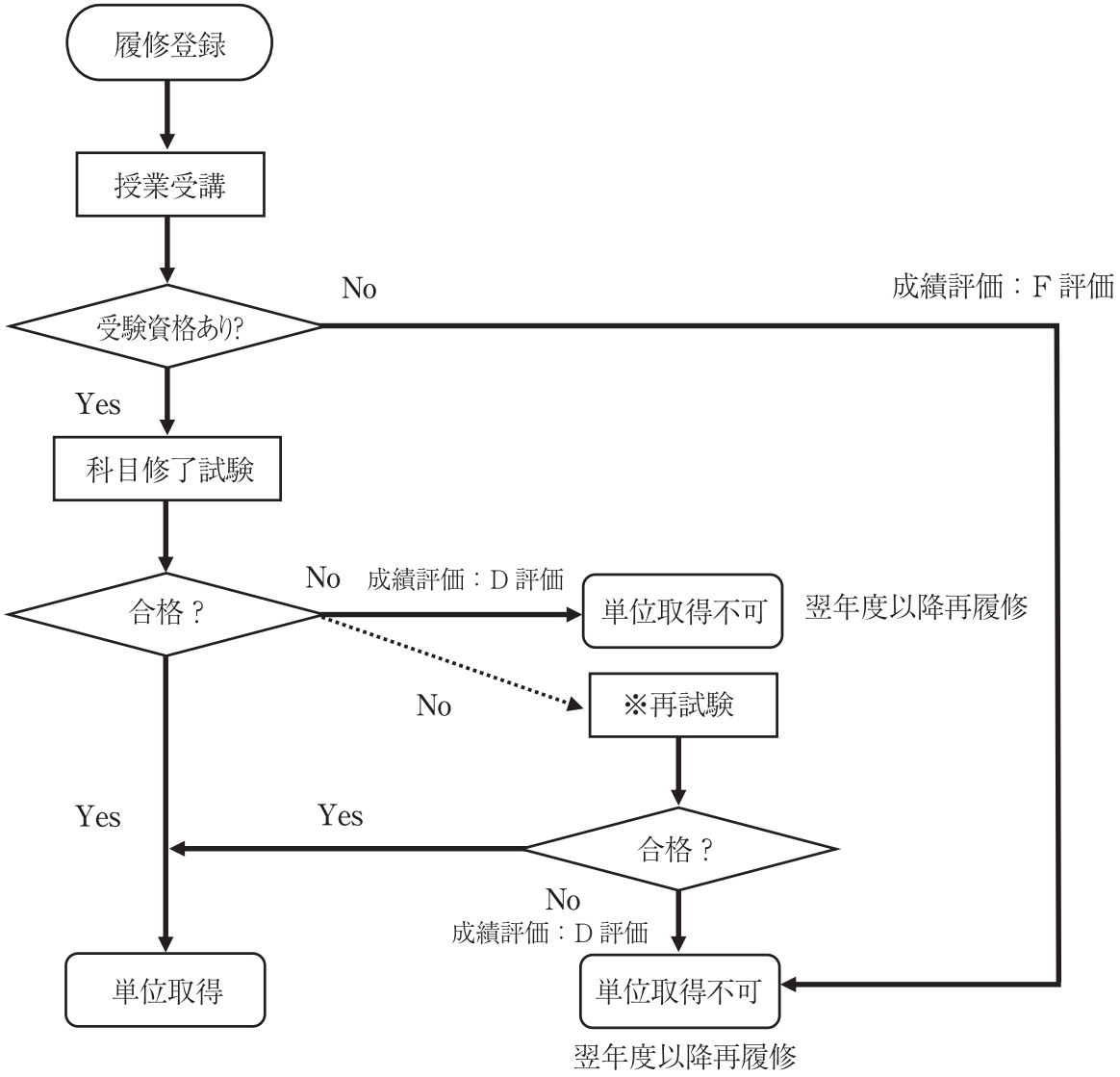
前年度の年度GPA	履修登録上限単位数
3.00以上	54単位
2.50以上3.00未満	52単位
2.50未満	50単位

・科目を再履修する場合は、科目の順序性を考慮し、原則として下位学年の科目を優先して履修することとする。
・当該年度の履修登録は後期科目も含め、原則前期におこなうものとする。ただし、後期の履修修正期間に上限単位数を超えない範囲で履修修正を行うことができる。
・下記科目については、履修上限単位数に含めないこととする。
　①　保健師コース履修学生における保健師選択必修科目
　②　多言語医療支援コース履修学生における多言語選択必修科目
　③　集中講義科目（「文化人類学」「Short Overseas Nursing Study」など）
　④　単位認定された科目（N：認定科目）

5．単位の認定

学生は履修登録を行い、授業回数の 3 分の 2 以上出席した科目について、科目修了試験の受験資格を得ることができます。さらに、科目担当責任者が平常の学修状況とその成果を考査した結果、合格と判定した場合には所定の単位が与えられます。

〈単位修得までの流れ〉



※再試験… 科目担当責任者が必要と認めた場合に限り行われるもので、必ず実施されるものではありません。

6－1．実習ならびに科目の履修要件（2019年度以降の入学生）

2 年次から開講される各実習科目ならびに一部の講義科目を履修するためには、下記の履修要件を満たさなければなりません。

1）「基礎看護学実習I（コミュニケーション実習）」（2 年次前期実施予定）
「看護学概論」、「基礎看護学方法論I（生活援助技術）」、「基礎看護学方法論Ⅱ（診療補助技術）」、および「ヒューマンケアリング論I（基礎）」の単位をすべて修得していること。

2）「基礎看護学実習Ⅱ（看護過程実習）」（2 年次後期実施予定）
下記の a）b）両方の条件を満たしておくこと。
a）「基礎看護学実習I（コミュニケーション実習）」、「看護過程I（看護過程の基本）」および「フィジカルアセスメント」の単位を修得していること。
b）「看護過程Ⅱ（応用）」および「ヒューマンケアリング論Ⅱ（応用）」において、〔未履修登録の科目〕または〔F 評価となった科目〕がないこと。

3）臨地実習（3 年次後期）
1 年次から 3 年次前期までに開講される【専門基礎分野】【専門分野I】および【専門分野Ⅱ】においてすべての必修科目の単位を修得していること。

4）「看護学総合実習」（4 年次前期）
3 年次後期に開講される実習科目において、すべての単位を修得していること。ただし、別途定めた条件（※）により、不合格となった実習科目が原則 1 科目の場合は、その限りではない。

5）「公衆衛生看護学実習」（4 年次後期）【保健師コース履修者のみ】
3 年次後期に開講される実習科目において、すべての単位を修得していること。

6）「ヒューマンケアリング論Ⅱ（応用）」（2年次後期）
「基礎看護学実習I（コミュニケーション実習）」の単位を修得していること。

7）「ヒューマンケアリング論Ⅲ（統合）」（4 年次前期）
「看護学総合実習」を履修登録していること。

8）「看護過程Ⅱ（応用）」（2 年次後期）
「看護過程I（看護過程の基本）」の単位を修得していること。

※　4）に関する申し合わせ事項：
次の 1・2 の条件により不合格となった実習科目が原則 1 科目の場合は、4 年次の「看護学総合実習」の履修を認める。
1. 感染症（疑い含む）や自然災害、忌引きや施設側の事情による実習中止で実習不合格となった場合
2. 実習施設が確保できない等の理由で、当該年度に補習実習が実施できなかった場合

6－2．実習ならびに科目の履修要件（2018年度入学生）

2 年次から開講される各実習科目ならびに一部の講義科目を履修するためには、下記の履修要件を満たさなければなりません。

1）「基礎看護学実習I（コミュニケーション実習）」（2 年次前期実施予定）
「看護学概論」、「基礎看護学方法論I（生活援助技術）」、「基礎看護学方法論Ⅱ（診療補助技術）」、および「ヒューマンケアリング論I（基礎）」の単位をすべて修得していること。

2）「基礎看護学実習Ⅱ（看護過程実習）」（2 年次後期実施予定）
下記の a）b）両方の条件を満たしておくこと。
a）「基礎看護学実習I（コミュニケーション実習）」、「看護過程I（看護過程の基本）」および「フィジカルアセスメント」の単位を修得していること。
b）「看護過程Ⅱ（応用）」および「ヒューマンケアリング論Ⅱ（応用）」において、〔未履修登録の科目〕または〔F 評価となった科目〕がないこと。

3）臨地実習（3 年次後期）
1 年次から 3 年次前期までに開講される【専門基礎分野】【専門分野I】および【専門分野Ⅱ】においてすべての必修科目の単位を修得していること。

4）「看護学総合実習」（4 年次前期）
3 年次後期に開講される実習科目において、すべての単位を修得していること。ただし、別途定めた条件※により、不合格となった実習科目が原則 1 科目の場合は、その限りではない。
5）「ヒューマンケアリング論Ⅲ（統合）」（4 年次前期）
「看護学総合実習」を履修登録していること。
6）「看護過程Ⅱ（応用）」（2 年次後期）
「看護過程Ⅰ（看護過程の基本）」の単位を修得していること。

※　4）に関する申し合わせ事項：
次の 1・2 の条件により不合格となった実習科目が原則 1 科目の場合は、4 年次の「看護学総合実習」の履修を認める。
1. 感染症（疑い含む）や自然災害、忌引きや施設側の事情による実習中止で実習不合格となった場合
2. 実習施設が確保できない等の理由で、当該年度に補習実習が実施できなかった場合

6－3．実習ならびに科目の履修要件（2016, 2017年度生）

2 年次から開講される各実習科目ならびに一部の講義科目を履修するためには、下記の履修要件を満たさなければなりません。

1）基礎看護学実習（2 年次前期実施予定）
「看護学概論」「基礎看護学方法論Ⅰ」「基礎看護学方法論Ⅱ」において〔未履修登録の科目〕または、〔F 評価となった科目〕がないこと。
2）看護過程実習（2 年次後期実施予定）【a）b）両方の条件を満たしておくこと】
a）「基礎看護学実習」の単位を修得していること。
b）「看護過程」を履修し、履修規定第 10 条第 3 項に定める試験の受験資格を有しておくこと。
3）臨地実習（3 年次後期～4 年次前期）【a）b）c）すべての条件を満たしておくこと】
a）「基礎看護学実習」「看護過程実習」の単位を修得していること。
b）1～3 年次前期までの必修科目において、不合格科目が 3 科目以内であること。
c）「専門基礎分野」、「専門分野Ⅰ」「専門分野Ⅱ」および「統合分野」の小区分において不合格科目が 1 科目以内であること。
4）看護学総合実習（4 年次前期）
3 年次後期に開講される実習科目のうち、不合格科目（D 評価・F 評価）が 1 科目以内であること。
5）「ヒューマンケアリング論Ⅱ」（2年後期）
「基礎看護学実習」の単位を修得していること。

6－4．実習履修要件（2015年度以前入学生）

2 年次から開講される各実習を履修するためには、先行して履修すべき科目の単位を修得し、かつ、各実習におけるオリエンテーションに出席しなければなりません。

1）基礎看護学実習（2 年次前期実施予定）
「看護学概論」「基礎看護学方法論Ⅰ」「基礎看護学方法論Ⅱ」の単位を修得済みであること。
2）看護過程実習（2 年次後期実施予定）
「基礎看護学実習」の単位を修得し、かつ「看護過程」を履修し、履修規程第 10 条第 3 項に定める試験の受験資格を有しておくこと。
3）臨地実習（3 年次後期～4 年次前期）【a）b）の両方を満たしておくこと】
a）「基礎看護学実習」「看護過程実習」の単位を修得済みである。
b）1～3 年次前期に修得すべき必修科目のうち、不合格科目が 3 科目以内であること。但し、全体の不合格科目数が 3 科目以内であっても、専門基礎分野、専門分野Ⅰ･Ⅱおよび統合分野の小区分において不合格科目が 2 科目以上ある場合は、臨地実習を受講することはできない。
4）看護学総合実習（4 年次前期）
3 年次後期に開講される実習科目のうち、不合格科目（D 評価・F 評価）が 1 科目以内であること。

7．「保健師選択コース」について

1)「保健師選択コース」選考について

⑴「保健師選択コース」を選択できる学生の条件

「保健師選択コース」履修の志望動機が明確なもので、福岡女学院看護大学履修規程運用細則第３条の選考基準を満たしているもの。またGPAは、2.5以上が望ましい。

⑵ 選考人数及び選考方法

① 選考人数は18名以内とする。

② 選考は面接・筆記試験を行い、「保健師選択コース志望申請書」、日頃の学習態度等を加味して総合的に評価する。

③ 志望者が18名に満たない場合でも選考を行い、「保健師選択コース」履修の適否を判定する。

⑶ 選考の流れ

１年次	4月	選考の概要について説明
２年次	4月	選考の概要について説明
	10～11月	選考の詳細について説明
	12月	「保健師選択コース志望申請書」を事務室（学務課）にて受付
	2月（下旬）～3月（上旬）	保健師選択コース履修者選考
	3月（中旬）～	保健師選択コース履修許可者発表

⑷ その他

①選考検定料は徴収しません。

②実習費（受講料）は、3年前期、3年後期、4年前期の3期に各5万（合計15万）円を学費と一緒に徴収します（2020年度以降入学生適用）。なお2019年度以前入学の受講者は、4年前期に5万円を徴収します。

③選考に関する説明会、選考に関する日時・場所、その他の連絡事項については、学内の掲示板にてお知らせします。

④「保健師選択コース志望申請書」の受付、選考日（面接及び筆記試験日）、コース履修許可者の発表日については、学年暦を確認してください。

2)「保健師選択コース」履修について

保健師選択コースの履修が許可された学生が履修しなければならない授業科目は下表のとおりです。なお、公衆衛生看護学実習は、３年次後期に開講される実習科目においてすべての単位を修得しているものに履修が認められます（※）。

※平成28年3月31日付け27医療第4491号「福岡県における保健師教育にかかる臨地実習の受入れ方針（改正）」より

[2018～2021年度入学生]

区分	授業科目	単位
公衆衛生看護学	公衆衛生看護方法論Ⅱ（集団・組織の支援）	2
	公衆衛生看護活動論Ⅰ（地域診断の基礎）	2
	公衆衛生看護活動論Ⅱ（地域診断の応用）	1
	公衆衛生看護管理論Ⅰ（基礎）	2
	公衆衛生看護管理論Ⅱ（応用）	1
	公衆衛生看護学実習	5

[2022年度以降入学生]

区分	授業科目	単位
公衆衛生看護学	公衆衛生看護方法論Ⅱ（集団・組織の支援）	2
	公衆衛生看護活動論Ⅰ（地域診断の基礎）	2
	公衆衛生看護活動論Ⅱ（地域診断の応用）	1
	公衆衛生看護管理論Ⅰ（地域ケアシステム）	2
	公衆衛生看護管理論Ⅱ（地域保健計画）	1
	公衆衛生看護学実習	5

3)「養護教諭二種免許」を申請する場合について

「養護教諭二種免許」は、保健師免許取得後に申請により取得できる資格です。

申請するためには、教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 により下記の科目を修得することが必要です。

[2018～2021年度入学生]

・法学（日本国憲法を含む）	・体育
・Practical English Ⅰ	・ラーニング・リテラシー
・Practical English Ⅱ	・情報処理演習

[2022年度以降入学生]

・法学（日本国憲法を含む）	・体育
・Practical English Ⅰ	・ラーニング・リテラシー
・Practical English Ⅱ	・情報リテラシー

8．「多言語医療支援コース」について

＜多言語医療支援コースとは＞

近年、日本に滞在する外国人が増加しつつある中で、日本の政府が医療観光に力を入れ始めています。一方、受け入れる病院側では、外国人患者に適切なケアを提供するための外国語力や多文化理解が不足している状況が懸念されている背景を踏まえ、多文化への理解、語学（英語）力、コミュニケーション力を備えた看護職を目指す事を目的としたコースです。

＜到達目標＞

1. 看護・医療場面において適切かつ円滑に英語を使うことができる。
2. 多文化の人々とコミュニケーションをとるためのスキルを身につける。
3. 「誕生」「ライフ」「死」および「医療」における文化的な相違と類似の理解を高める。

＜多言語医療支援コース履修申請から修了まで＞

1)「多言語医療支援コース」選考について

(1)コース定員

最大 10 名　※コース履修者の選抜は､1 年から 2 年に進級する際(2 月～ 3 月)に行います。

(2)コース申請

コースの履修を申請する場合は、下記の 2 つのことが要件となります。

① 1 年時後期の申請書提出時までに CEFR B1 の英語力を証明できる資格を持つこと。(例：実用英語技能検定 2 級、TOEIC 550点以上、GTEC 960点以上、その他)

② Pre-Nursing English Ⅰ（1 年次前期）& Pre-Nursing English Ⅱ（1 年次後期）の単位を修得すること。

表1　多言語医療支援コース履修の流れ

	手　続　き	コース修了に必要な科目
1年生	多言語医療支援コース希望調査書を提出 ＊入学から1週間以内	【前期】Practical English Ⅰ Pre-Nursing English Ⅰ 【後期】Practical English Ⅱ Pre-Nursing English Ⅱ
1年生	【後期】多言語医療支援コース履修申請書を提出	
1年生	【後期】外部検定試験を受験	
1年生	【後期】多言語医療支援コースの選考･選抜	合 格
2年生	【後期】TOPEC看護英語試験を受験	【前期】English for Nursing Ⅰ 【後期】English for Nursing Ⅱ
3年生		【前期】 English for Nursing Ⅲ Intercultural Communication（曰佐）
4年生	卒業年次までに合格証を提出	【前期】 Stories from Non-Japanese Patients 【後期】 Cross Cultural Communication Strategies（曰佐）
	多言語医療支援コース修了証を取得	

2）コース履修にかかる費用（自己負担）

（1）外部検定試験受験料　¥1,650

（2）日本医学英語検定試験受験料または TOPEC 看護英語試験受験料

①日本医学英語検定試験　¥7,500

②TOPEC 看護英語試験　¥5,000 および大阪までの往復交通費

（3）その他（曰佐キャンパスへの交通費等）　実費負担

3) 外部検定試験について

外部検定試験は1年生の後期に実施します。簡単な日常会話に参加できるレベルの英語力を測るテストです。

4) 「多言語医療支援コース」履修について

多言語医療支援コースの履修が許可された学生が履修しなければならない授業科目は表2を参照してください。本学の開講科目と福岡女学院大学（臼佐キャンパス）国際キャリア学部開講科目の読み替え表は表３を参照してください。

表２　＜コース履修に必要な科目＞
＊コース履修において必修だが、卒業要件としては「選択」の単位として加算する。

学年	開講期	科目名	単位
1	前期	Practical English Ⅰ（大学英語の入門）	1
		*Pre-nursing English Ⅰ（Health Professionals）	1
1	後期	Practical English Ⅱ（自己表現力）	1
		*Pre-nursing English Ⅱ（Healthy Living）	1
2	前期	English for Nursing Ⅰ（Patient Assessment）	1
2	後期	*English for Nursing Ⅱ（Patient Care）	1
3	前期	*English for Nursing Ⅲ（Patient Education）	1
		*1 Intercultural Communication	2
4	前期	*Stories from Non-Japanese Patients	1
4	後期	*1 Cross Cultural Communication Strategies	2

*1 の科目は福岡女学院大学国際キャリア学部（福岡市南区臼佐）の開講科目です。
この科目の「履修年次」は本学で設定している「履修年次」と異なります。この科目については表３のように読み替えを行う。

表３

看護大学開講科目	（履修年次）	国際キャリア学部開講科目	（履修年次）
Intercultural Communication	（３年）	Intercultural Communication	（２年）
Cross Cultural Communication Strategies	（4 年）	Communication Strategy	（２年）

5) コース修了要件

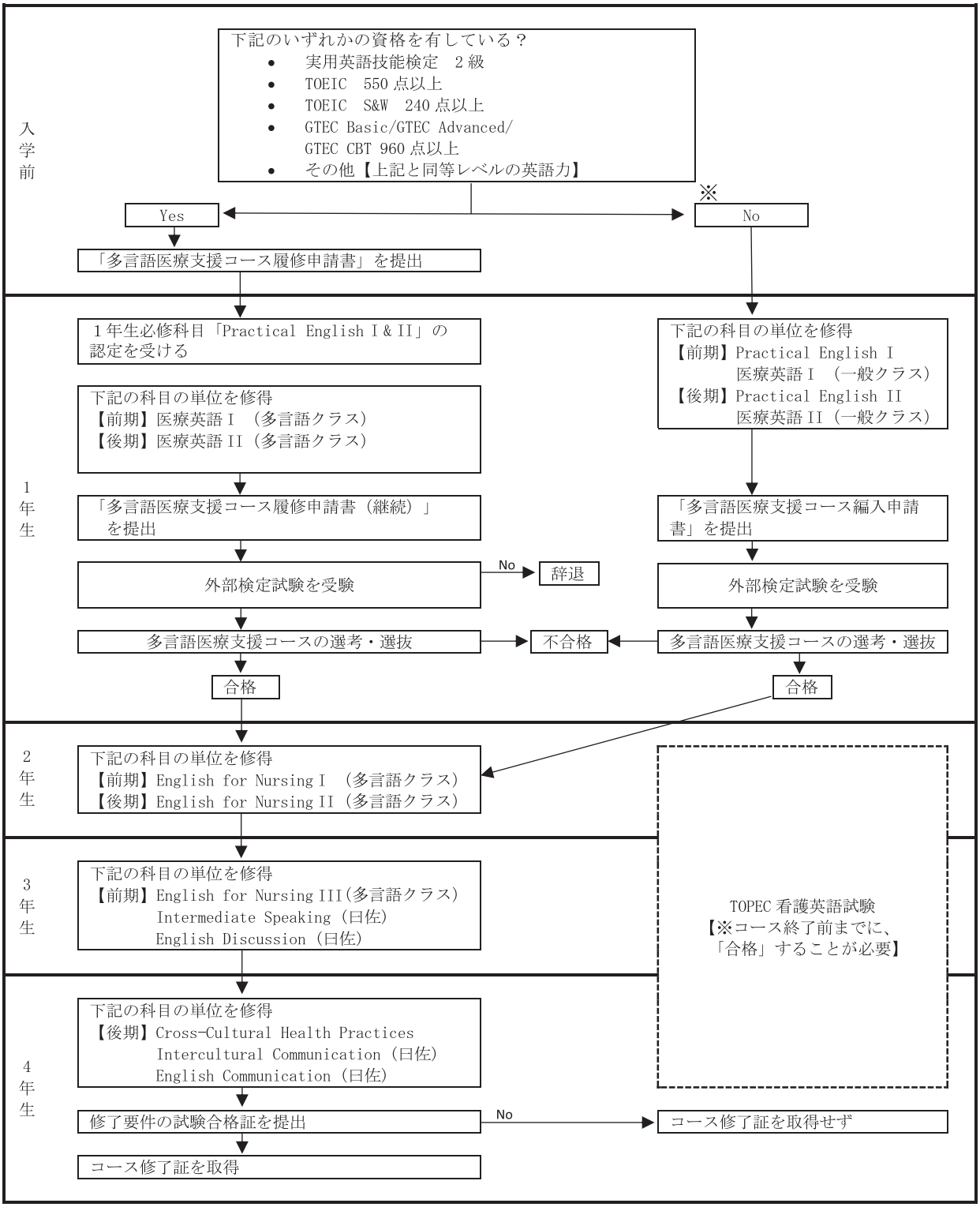
以下の要件を満たした者には、卒業時にコースの修了証書を発行します。

・１年次後期に外部検定試験を受験し、多言語医療支援コースに所属してること。
・コースに必要な科目の単位をすべて修得していること。
・日本医学英語検定試験＊３級または TOPEC 看護英語試験＊＊合格を卒業年次までに取得していること。（※３年次に受験することを推奨します。）

〈2019 ～ 2021 年度入学生〉

表1　多言語医療支援コース履修の流れ

※編入制度は 2021 年度入学生より適用



1) コース履修にかかる費用（自己負担）

(1) 外部検定試験受験料　¥1,650

(2) 日本医学英語検定試験受験料または TOPEC 看護英語試験受験料

①日本医学英語検定試験　¥7,500

②TOPEC 看護英語試験　¥5,000 および大阪までの往復交通費

(3) その他（日佐キャンパスへの交通費等）　実費負担

2)「多言語医療支援コース」履修について

多言語医療支援コースの履修が許可された学生が履修しなければならない授業科目は表2を参照してください。本学の開講科目と福岡女学院大学（臼佐キャンパス）国際キャリア学部開講科目の読み替え表は表３を参照してください。

表2　＜コース履修に必要な科目＞　※コース履修において必修だが、卒業要件としては「選択」の単位として加算する。

科目名称	単位	履修年次	開講期	備考
医療英語Ⅰ（人体・症状・疾病）	1	1年	前期	
医療英語Ⅱ（診察・処置）	1	1年	後期	
English for Nursing Ⅰ（情報収集）	1	2年	前期	
English for Nursing Ⅱ（アセスメント）	1	2年	後期	
English for Nursing Ⅲ（入院時のサポート）	1	3年	前期	
Cross-cultural Health Practices	1	4年	後期	
※1 Intermediate Speaking	2	3年	前期	
※1 English Discussion	2	3年	前期	
※1 English Communication	2	4年	後期	
※1 Intercultural Communication	2	4年	後期	

※1の科目については表３のように読み替えを行う。

＜注意事項＞

①福岡女学院大学国際キャリア学部（福岡市南区臼佐）の開講科目はコース履修学生のみ履修可能

②国際キャリア学部で開講している科目の「履修年次」は本学で設定している科目の「履修年次」と異なります。

表3　＜本学開講科目と国際キャリア学部開講科目の読み替え表（例）＞

看護大学開講授業科目	（履修年次）	国際キャリア学部開講授業科目	（単位）
Intermediate Speaking	（3年）	Communication Skills Ⅰ	(2)
English Discussion	（3年）	Intercultural Communication	(2)
English Communication	（4年）	Communication Skills Ⅱ	(2)
Intercultural Communication	（4年）	Communication Strategy	(2)

3) コース修了の基準について

コース科目の全単位取得と日本医学英語検定試験*3級　または、TOPEC看護英語試験**に合格することで コース修了となります。

＊日本医学検定試験とは、日本医学英語教育学会が主催する医学・医療に特化した英語検定試験です。

＊＊TOPEC看護英語試験は、特定非営利活動法人プロフェッショナルイングリッシュコミュニケーション協会が実施する「職業分野別英語コミュニケーション試験」の看護分野の英語試験です。

【試　　験】

1．試験の方法

試験は、それぞれの授業科目に応じて、筆記・口述・レポート・論文・実技等によって行います。

この方法は、いずれか一つの方法で評価される場合と、いくつかの方法を組み合わせて総合的に評価される場合があります。詳しくはシラバス（授業概要）の「成績評価」の箇所を参照してください。

2．試験の種類

試験は、次のように分けられます。

なお、この他授業中に随時試験を行うことがあります。

科目修了試験（期末試験）	授業科目を履修し、受験資格を得た者に対して、前期末または後期末に行う試験
追　試　験	病気その他やむを得ない理由で、試験に欠席した者に対して行う試験
再　試　験	科目担当責任者が、必要と認めた場合に限り行う試験

3．試験時間

試験時間は、次のとおりです。

試験時間帯が変更になる場合は掲示します。

時　　限	開始時間　～　終了時間
1 時 限	9：00　～　10：30
2 時 限	10：50　～　12：20
昼 休 み	12：20　～　13：10
3 時 限	13：10　～　14：40
4 時 限	15：00　～　16：30
5 時 限	16：50　～　18：20

4．受験資格

受験資格は次のとおりです。

受験資格のない者が試験を受けても無効となり、単位は与えられません。受験資格の有無については、所定の期日に掲示を行います。

1）履修登録をしていること。

2）出席時間数が出席すべき回数の３分の２以上であること。

※通年開講の科目において前・後期に試験を実施する場合、当該期の出席すべき回数の 2/3 以上であること。

3）当該期の授業料を納入していること。

※延納・分納を許可された場合で、納入最終期限より前に試験が実施される場合は、試験を受けることができる。但し、納入最終期限までに完納されなかった場合は、成績を取り消す。

5．レポートの提出

試験に代わるレポートの提出については、筆記試験と同様に規律を守ってください。レポートの形態・提出期日・提出方法については、科目担当責任者の指示に従ってください。

6．追 試 験

1） 本試験を欠席する場合は当該科目の試験開始前までに何らかの方法で試験欠席を学務課に連絡する事を原則とします。追試験に該当する欠席理由があり、追試験を希望するものは、正当な理由を証明するものを添えて所定の手続きをおこなってください。正当な理由（証明書）なしに試験を欠席した場合、追試験を申し込む事はできず、当該科目を【不合格（D評価）】とします。不合格になった科目の単位認定を受けるためには、翌年度以降に再履修しなければなりません。寝坊等は正当な理由として認められず、追試験を申し込む事はできません。

2） 追試験を希望する者は、指定された日時までに所定の「追試験願」（以下に記す必要な証明書を添えて）を学務課に提出してください。後日、許可者の発表を掲示にて行います。

欠席理由	必 要 な 証 明 書
病気、けが	安静治療・隔離を要する旨およびその期間が明記された医師の診断書
忌引き	会葬礼状および保護者連署の理由書
交通機関の事故	交通機関の発行する遅延証明書
その他、特別な事情	そのことを証明する文書等

3） 追試験の許可を受けた者は、指定された日時までに追試験受験料の振り込みを行ってください。手続きを怠った場合は、追試験を受けることはできません。

追試験の受験料	１科目につき　2,000円

4） 追試験の期日および時間割は、掲示にて伝達します。

5） 追試験の評価は、試験点数の80％とします。

7．再 試 験

科目修了試験（期末試験）または追試験の結果、不合格となった場合、原則としてその科目は再履修しなければなりません。但し、科目担当責任者が必要と認めた場合に限り、再試験を行います。

1） 再試験の対象者については、所定の期日に発表を行います。指定された日時までに所定の「再試験願」を提出して手続きを行ってください。

※再試験が筆記試験以外の場合でも、同様の手続きが必要です。

2） 再試験の期日および時間割は、掲示にて伝達します。

3） 再試験の評価は、ＣまたはＤとします。

4） 再試験の手続きを行った者は、指定された日時までに再試験受験料の振り込みを行ってください。手続きを怠った場合は、再試験を受けることはできません。

再試験の受験料	１科目につき　2,000円

8．受験上の注意（追試験・再試験を含む）

1） 試験の際は、監督者の指示に従い、他の受験者の迷惑にならないよう注意してください。

2） 試験開始５分前までには、指定された座席に着席してください。

3） 試験中は、学生証を必ず机上に置いてください。学生証不携帯の者は試験を受けることができません。学生証を忘れた場合は、学務課窓口で「仮学生証」の交付を願い出てください。

4） 遅刻入場は、試験開始後20分まで認めます。但し、試験時間は延長されません。

5） 試験開始後30分以内の退場はできません。

6） 試験での使用を許可されたもの以外は、試験場に持ち込むことはできません。

7） スマートフォン、携帯電話等は電源を切り、カバン類に入れてください。試験中に音などが鳴った場合は、すべての携帯品ごと試験室外に持ち出します。

8） 日頃から体調管理には十分心がけ、万全の体調で試験に臨んで下さい。

9．不正行為

試験中に不正行為をした者は、学則第48条に基づき懲戒処分の対象となります。また、すでに受験した科目を含め、当該学期に履修した全科目が失格（F評価）となります。

【成　　績】

1．授業科目の成績評価

本学では合格・不合格の評価を5段階で行うとともに、全体的な学力を評価する指標としてGrade Point Average（GPA）を利用します。

2．成績評価基準

区　　分	評　価	成績評価基準	1単位あたりのＧＰ（※2）
合　　格	ＡＡ	100点 ～ 90点	4
	A	89点 ～ 80点	3
	B	79点 ～ 70点	2
	C	69点 ～ 60点	1
	N	認　　定（※1）	―
不合格	D	59点以下	0
	F	失格・放棄	0
その他	W	保　留	―

※1　認定：編入学などで認定された既修得単位。GPA の計算対象外となる。
※2　GP：grade points の略。N を除く成績評価を点数に置き換えたものを指す。

3．GPA について

GPAとは、成績が確定した科目のGPの総和を総単位数（不合格科目のD評価・F評価の単位数を含む）で割った値、つまり1単位あたりのGPの平均値を指し、0.00～4.00の数字で表示されます。この値は、全体的な学力を評価する指標として用いられます。GPAには下記の3種類があります。

① 各学期に履修した授業から計算されるGPA（年度学期GPAと省略）
② 各学年に履修した授業から計算されるGPA（年度GPAと省略）
③ 在学期間に履修した全ての授業から計算されるGPA（通算GPAと省略）

＜GPAを用いた修学支援制度について＞

① 通算GPAが2.0未満の学生や特定の科目で不合格となった学生に対し、面談及び修学指導をおこないます。また、下記に該当する場合は保護者を含めた面談を実施することがあります。

・通算GPAが著しく低く、単位の修得状況が芳しくない
・卒業判定に影響があると判断した場合

② 福岡女学院看護大学履修規程第15条第３項により、年度GPAが著しく低い学生に対し退学勧告をおこなうことがあります。詳細については「福岡女学院看護大学履修規程運用細則」に定めているとおりです。

GPA制度は個々の学修評価を可視化して、学生の皆さんの学習意欲向上を図るためのものであり、退学勧告を主たる目的としていません。面談及び修学指導の結果、学習改善に向けた意欲が確認できれば引き続き修学することが可能です。ただし、「面談の呼び出しに応じない」「面談後も学習改善に向けた意欲が見られない」などの場合は退学勧告の対象となることがあります。

4．GPA の計算方法

成績が確定した履修登録科目の成績評価の GP に、その科目に与えられている単位数をかけたものを、総単位数で割ります。計算式は以下のとおりです。

$$GPA = \frac{\begin{array}{c}4 \times AAの修得単位数 + 3 \times Aの修得単位数 + 2 \times Bの修得単位数 + 1 \times Cの修得単位数 \\ + 0 \times Dの修得単位数 + 0 \times Fの修得単位数\end{array}}{総単位数（D・Fの単位数も含む）}$$

（計算例） 科目１：ＡＡ 科目２：Ａ 科目３：Ｄ 科目４：Ｆ 科目５：Ｂ 科目６：Ｃ
科目７：ＡＡ 科目８：Ａ 科目９：ＡＡ

	単位数		1単位あたりのGP		GP
科目１	3	×	4（ＡＡ）	＝	12
科目２	2	×	3（　Ａ）	＝	6
科目３	2	×	0（　Ｄ）	＝	0
科目４	2	×	0（　Ｆ）	＝	0
科目５	2	×	2（　Ｂ）	＝	4
科目６	1	×	1（　Ｃ）	＝	1
科目７	2	×	4（ＡＡ）	＝	8
科目８	3	×	3（　Ａ）	＝	9
科目９	2	×	4（ＡＡ）	＝	8
総単位数	19			GP の総計	48

＊GPA ＝（GP の総計…48）÷（総単位数…19）＝2.5263…≒ 2.53

5．成績発表・成績評価の開示および保護者宛成績通知について

履修した授業科目の成績および修得単位は、指定された期間内において「Mission Net（Universal Passport）」で閲覧ができます。必ず期間内で成績の確認を行ってください。成績開示期間は別途通知します。また、所定の期日までに保護者宛に成績通知書を送付します。

※成績順位は年に一回、学生に直接配布します。配布日時は別途通知します。

6．成績等に関する問い合わせ

成績等に関する問い合わせ方法は下記のとおりとします。

なお、大学事務室への電話による問い合わせは一切受け付けません。

事　　項	問い合わせ及び確認期間	問い合わせ先
科目修了試験受験資格	掲示日～科目修了試験期間開始日前日	科目担当責任者
再試験受験資格	掲示日～再試験期間開始日前日	
成績通知書（評価）	各学期に指定される期間(掲示にて通知)	

※科目担当責任者が非常勤講師の場合は、学務課に申し出てください。